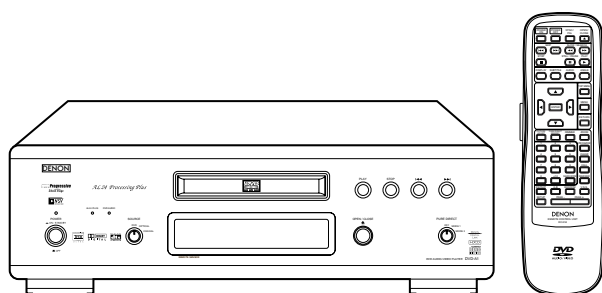
DENON
取扱説明書

DVD-A1

DVD AUDIO-VIDEO PLAYER
DVD オーディオ-ビデオプレーヤー

安全にお使いいただくために—必ずお守りください。

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

目　次

はじめに

接続

準備

操作

その他

1 安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

絵表示について　この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠ 警告

■安全上お守りいただきたいこと

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

電源プラグをコンセントから抜け

煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

水が入ったり、濡らしたりしないように

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。火災・感電の原因となります。

ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

内部に異物を入れない

通風孔、ディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

警告 つづき

■安全上お守りいただきたいこと

キャビネット（天板・裏ぶた）を外したり、改造したりしない

内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。
この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

雷が鳴り出したら

アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

乾電池は充電しない

電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。

落としたり、キャビネットを破損した場合は

まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■取り扱いについて

風呂・シャワー室では使用しない

水場での使用禁止

火災・感電の原因となります。

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器を置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

この機器の上に小さな金属物を置かない

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 注意

■安全上お守りいただきたいこと

電源コードを熱器具に近付けない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

ディスク挿入口に手を入れない

指を挟まれないよう注意

特に幼いお子様にご注意ください。けがの原因となることがあります。万一手を挟まれた場合は、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

レーザー光源をのぞき込まない

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

電池を交換する場合は

極性表示に注意し、表示通りに正しく入れてください。間違えますと電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。指定以外の電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器・スピーカーなどの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

■置き場所について

次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

壁や他の機器から少し離して設置する

スーパーウーハーは壁から少し離して据え付けてください。また放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

⚠ 注 意 つづき

■取り扱いについて

通風孔をふさがない

内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

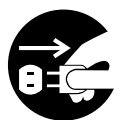
- あお向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いて使用する

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

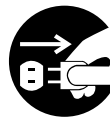
特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

移動させる場合は

まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
この機器の上にテレビなどを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■使わないときは

長期間の外出・旅行の場合は

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

■お手入れについて

お手入れの際は

安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。

5年に一度は内部の掃除を

販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。
なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

2 取り扱い上のご注意

結露現象について

■ 結露とは

冬期に暖房をした部屋の窓ガラスに水滴がつくような現象をいいます。

■ 結露が起こる条件は

冬期などに本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、本機内部の動作部に露がつき正常に動作しなくなることがあります。
結露は夏にエアコンの風が直接当たるところでも起こることがあります。その場合には本機の設置場所を変えてください。

■ 結露後の処置は

◎ 結露が起こった場合は、電源を入れてしばらく放置しておいてください。周囲の状況によって異なりますが、1〜2時間で使用できるようになります。
◎ ディスクに露がついている場合がありますので、きれいに拭き取ってください。

テレビ放送の画面にしま模様が入る場合

■ 本機の電源を入れたままテレビ放送を見ると、テレビ放送の電波状態によりしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。テレビ放送を見る場合には本機の電源を切ってご覧ください。

著作権について

■ ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

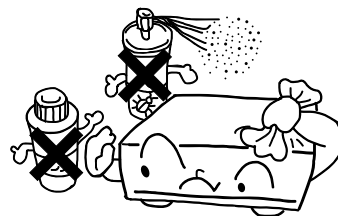
FMやAM放送を受信している場合

■ FMやAM放送を受信しているときに本機の電源が入っているとFMやAM放送の受信音に雑音が入る場合があります。本機を使用しないときは電源を切っておいてください。

お手入れについて

■ キャビネットや操作パネル部分の汚れを拭き取るときは柔らかい布を使用し、軽く拭き取ってください。

◎ 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■ ベンジン・シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質したり変色することがありますので使用しないでください。

使わないときは

■ ふだん使わないとき

◎ 必ずディスクを取り出し、電源を切ってください。
◎ 外出やご旅行の場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

■ 移動させるとき

◎ 床などを傷つける恐れがありますので、引きずらないでください。
◎ 衝撃を与えないでください。
◎ 必ずディスクを取り出し、接続コードを外したことを確認してからおこなってください。

3 ディスクについて

★本機で再生できるディスクは下記の種類です。
ディスクのマークはディスクのレーベル、またはジャケットについています。

再生できるディスク	マーク（ロゴ）	記録されているもの	ディスクの大きさ
DVDオーディオ<注1>	DVD AUDIO	デジタル音声＋デジタル映像（MPEG2方式）	12cm
DVDビデオ<注1>	DVD VIDEO / DVD VIDEO		
DVD-R<注2>	DVD R / DVD R		8cm
DVD-RW<注2>	DVD RW / DVD RW		
ビデオCD<注1>	COMPACT disc DIGITAL VIDEO	デジタル音声＋デジタル映像（MPEG1方式）	12cm / 8cm
CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	デジタル音声 MP3 デジタル画像（JPEG方式）	12cm
CD-R<注3>	COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable		8cm
CD-RW<注3>	COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable		
ピクチャーCD	Kodak Picture CD COMPATIBLE	デジタル画像（JPEG方式）	12cm

■ **下記のディスクは再生できません。**
- リージョン番号が『2』または『ALL』以外のDVD
- DVD-ROM/RAM
- DVD＋RW/DVD＋R
- SACD
- CD-ROM（MP3、JPEGファイルは再生可能）
- VSD/CVD/SVCD
- CDV（**オーディオパートのみ再生できます。**）
- CD-G（**音声は出力されますが、画像は出力されません。**）
- フォトCD

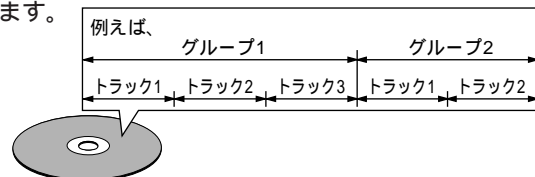
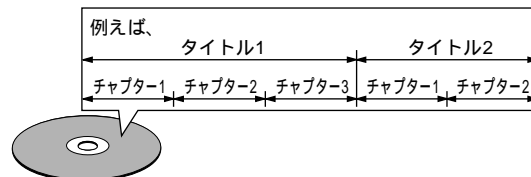
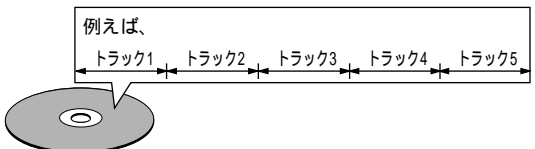
など

<注1> DVDオーディオ、DVDビデオ、ビデオCDの中には、ソフト制作者の意図により、本書の説明どおりに動作しないディスクがあります。

<注2> 本機はDVDレコーダでビデオフォーマット記録されたDVD-R/RWディスクを再生することができます。なお、ディスクの記録状態によってはディスクを受け付けなかったり、映像や音声が途切れるなど正常に再生できないことがあります。また、ファイナライズをおこなっていないディスクは再生できません。

<注3> CD-R/RWは、記録状態によっては再生できない場合があります。

■ ディスクに関する用語について

● **グループ、トラック**（DVDオーディオ）
DVDオーディオは、いくつかの大きな区切り（グループ）と小さな区切り（トラック）に分けられています。それぞれの区切りには番号が割り当てられ、これらの番号をグループ番号、トラック番号と呼びます。

● **タイトル、チャプター**（DVDビデオ）
DVDビデオは、いくつかの大きな区切り（タイトル）と小さな区切り（チャプター）に分けられています。それぞれの区切りには番号が割り当てられ、これらの番号をタイトル番号、チャプター番号と呼びます。

● **トラック**（ビデオCD/音楽CD）
ビデオCDや音楽CDは、いくつかの区切り（トラック）に分けられています。この区切りには番号が割り当てられ、この番号をトラック番号と呼びます。

● **プレイバックコントロール**（ビデオCD）
『プレイバックコントロール付き』などとディスクやジャケットに書かれているビデオCDは、テレビに表示されるメニュー画面を見ながら見たい場面や情報を対話形式で楽しむことができます。
本書では、メニュー画面を用いて再生することをビデオCDの『**メニュー再生**』と呼びます。
本機はプレイバックコントロール付きビデオCDに対応しています。

ご注意

- 本機は、国ごとに割り当てられた番号（リージョン番号）がDVDディスクに表示されている場合には、DVDディスクと本機のリージョン番号が一致しないと再生できません。

4 本機の特長

DVD-A1は、最新のデジタル・テクノロジーを投入したDENON最高級DVDオーディオビデオプレーヤーです。次世代メディアを見据えた新開発のアナログ波形再現技術AL24 Processing Plusを搭載し、さらには、AL24 Processing Plusのもつハイクオリティーを最大限に活かし、D/A変換をさせるために、192kHzサンプリングに対応したマルチ24bit D/Aコンバータを採用しています。

1. 新開発AL24 Processing Plus

（1）AL24 Processing Plusは、従来のAL24 Processingの技術を継承し、より量子化歪みを低減し、次世代メディアのハイビット化にもハイサンプリング化にも対応させた新開発のアナログ波形再現技術です。
AL24 Processing Plusは入力されたデジタルデータを手がかりに、その音が自然界に存在したはずのアナログ波形に近づくようにデジタルデータの補間を行い、24bitクオリティーで再現することにより、ホールに吸い込まれるような残響音などの小音量時の音楽再生能力を高めました。

（2）従来のALPHA Processingの特長であった、遮断帯域を自動的に可変する適応型Digital Filter（Adaptive Line Pattern Harmonized Algorithm & Automatic Low Pass Filter Harmonic Adjustment）をも継承しています。DVD-A1では、それらのフィルターを大幅に改善。この結果、阻止帯域減衰量は－115dB以上を実現。また、通過帯域内リップルは±0.00002dBというプロフェッショナルレコーディングユースに迫るスペックを実現しています。

2. 高精度Multi-24bit D/A Converter 搭載

（1）AL24 Processing Plusにより得られた24bitのハイクオリティーデータを、忠実にD/A変換するためにマルチ24bit D/Aコンバータを採用しています。これにより、S/N・ダイナミックレンジ・歪みなどのオーディオ性能をさらに引き出すとともに、ハイビット/ハイサンプリング化による高音質を十分に堪能できます。

（2）マルチ24bit D/Aコンバータは電源電圧（電流）の変動によるノイズの影響を受けにくく、また、帯域内量子化歪みレベルは周波数に無関係に一定していますので、ノイズの少ないクリアなサウンドを聞くことができます。

3. HDCD®（High Definition Compatible Digital）デコーダ搭載 <注1>

HDCDは従来のCDフォーマットとの互換性を保ちながら、デジタルレコーディング時に起こる歪みを大幅に低減するエンコーディング・デコーディング技術で、ダイナミックレンジの拡大とハイレゾリューションを実現できます。
このHDCDデコーダを搭載することで、HDCD対応ディスクを再生することによりHDCDの特長である高解像度、低歪の特性を引き出し、なおかつDENONのデジタルテクノロジーと融合することで、HDCDに秘められた高音質を最大限に発揮することができます。また、通常のCDディスク、DVDディスクとHDCD対応CDディスクとを自動的に判別して、それぞれに適応したデジタル信号処理をおこなっています。

4. ドルビーデジタル（AC-3）、DTSデコーダ搭載 <注2> <注3>

ドルビーデジタル（AC-3）/DTSデコーダを内蔵していますので、AVアンプやスピーカーと組み合わせて、映画館やホールにいるような臨場感がお楽しみいただけます。

5. 優れた高品質の証であるTHX® Ultraに対応 <注4>

DVD-A1は、Lucasfilm社によって提唱されたDVDプレーヤーに対する画質、音質、接続機器との操作性といった、厳しい品質基準であるTHX® Ultra規格を満たしています。高品質な映像とサウンドを手に入れることができるのです。

6. “ Pure Progressive™ ” プログレッシブスキャン回路搭載 <注5>

高精度なプログレッシブスキャン回路 “ Pure Progressive™ ” を搭載していますので、映画などのDVDソフトをオリジナルに近い映像で再現できます。

プログレッシブスキャンとは

従来のインターレース方式に比べて映像情報が倍になるため、画面のチラツキや輪郭のギザギザの少ないクリアな映像が得られます。

本機の特長（つづき）

7. 14bit / 108MHzビデオD/Aコンバータ搭載

すべての映像信号のDA変換処理を14bitでおこなうとともに、プログレッシブでは4倍オーバーサンプリング処理をおこなうことのできるビデオD/Aコンバータを使用しており、DVD本来の美しい映像を満喫できます。さらに、NSV技術によりDA変換時のノイズを低減しています。**<注6>**

8. 徹底した防振設計

（1）焼結合金製の大型インシュレーター採用により、床からの振動を吸収。
（2）ピックアップメカは、外部振動の受けにくいセンターレイアウトにしました。
（3）重量級シャーシと低重心化による低振動設計です。

9. デジタル入力端子装備

外部デジタル機器とデジタル接続することにより、D/Aコンバータとして使用することができます。

10. 多彩な機能をお楽しみいただけます。

（1）ピクチャーCD再生機能 <注7>
本機はKODAK社がおこなっていますピクチャーCDを再生することができます。
また、CD-R/RWに記録したJPEG方式の静止画像も再生することができます。

（2）マルチ音声機能
最大8ヵ国語の音声言語から、お好みの音声言語に切り替えて楽しむことができます。
（音声言語数はDVDソフトにより異なります。）

（3）マルチ字幕機能
最大32ヵ国語の字幕言語から、お好みの字幕言語に切り替えて楽しむことができます。
（字幕言語数はDVDソフトにより異なります。）

（4）マルチアングル機能
見たいアングル（角度）に変えて楽しむことができます。
（複数のアングルが記憶されているDVDソフトに限ります。）

（5）GUI（Graphical User Interface）機能
リモコンのDISPLAYボタンを押すことで、本機に関する情報やディスクの情報を、わかりやすくテレビ画面上に表示します。

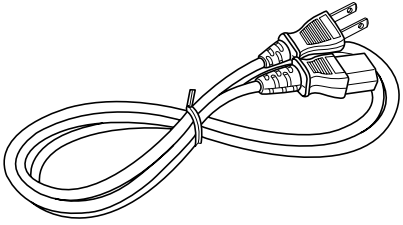
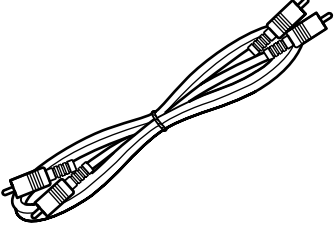
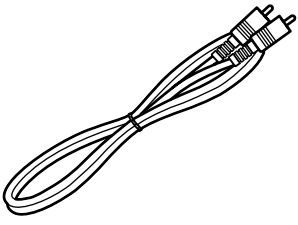
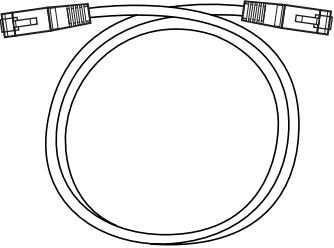
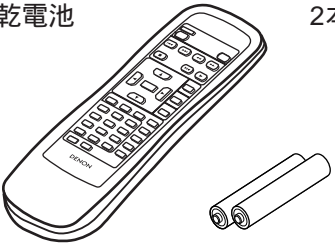
（6）マーカー機能
見たい場面を最大5ヵ所まで記憶できるので、好きなときに見たい場面を楽しむことができます。

（7）視聴制限機能
お子様などに見せたくないDVDソフトを再生できなくすることができます。

<注1>：HDCD®,HDCD®, High Definition Compatible Digital®およびPacific Microsonics™は、米国内や他の国におけるパシフィック・マイクロソニック社の登録商標または商標です。HDCDシステムはパシフィック・マイクロソニック社からのライセンスに基づき製造されています。この製品は下記の1つ以上の特許によって保護されています。米国内：5,479,168、5,683,074、5,640,161、5,808,574、5,838,574、5,838,274、5,854,600、5,864,311、5,872,531。オーストラリア国内：669114。その他の特許は出願中。

<注2>：ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
" Dolby " およびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
非公開機密著作物。著作権1992-2000ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

<注3>：" DTS " はデジタル・シアター・システムズ社の登録商標です。

<注4>：" Lucasfilm "、" THX® Ultra " はルーカスフィルム社の登録商標です。

<注5>：" Pure Progressive " はシリコンイメージ社の商標です。

<注6>：" NSV " はアナログデバイセズ社の登録商標です。

<注7>：" KODAK " はイーストマン・コダック社の登録商標です。

5 付属品について

★本体とは別に下記の付属品がついています。ご使用の前にご確認ください。

電源コード　1本	オーディオコード　1本	ビデオコード　1本
リモコン（RC-552）　1個 単3乾電池　2本	DENON LINK端子用コード　1本	取扱説明書（本書）　1冊
		製品のご相談と 修理・サービス窓口一覧表　1枚
		保証書 （梱包箱に貼り付けられています）

ご注意

- 本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので、実物とは異なる場合があります。

6 保証とサービスについて

1 この商品には保証書が添付されております。
保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。

2 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
万一故障した場合には、保証書の記載内容により、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口が修理を申し受けます。
但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は、有料修理となりますのでご注意ください。
詳しくは保証書をご覧ください。

※修理相談窓口については、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

3 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。

4 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

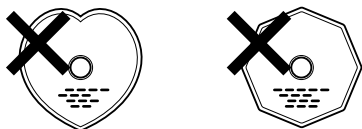
5 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
※当社製品のお問い合わせについては、お客様相談窓口にご連絡ください。
詳しくは、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

ステレオ音のエチケット

◎楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。
◎隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
◎ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で小さくも大きくもなります。
◎特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。
◎窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
◎お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

7 ディスクの取り扱いとご注意

ディスクについて

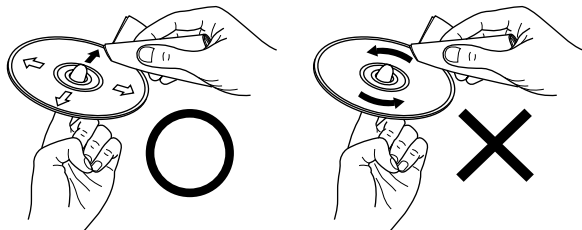
本機で再生できるディスクは、7ページにあるマークがついているものです。
但し、ハート形や八角形など特殊形状のディスクは再生できません。機器の故障の原因となりますのでご使用にならないでください。

ディスクの持ちかた

ディスクを装着したり取り出すときは、できるだけ表面を触らないようにしてください。

信号記録面（虹色に光っている面）には、指紋などをつけないようにしてください。

ディスクのお手入れのしかた

■ ディスクに指紋や汚れが付いた場合、音質や画質が低下したり、途切れることがありますので、拭きとってからご使用ください。

■ 拭き取りには、市販のディスククリーニングセットまたは柔らかい布などをご使用ください。

内周から外周方向へ軽くふく。

円周に沿ってはふかない。

ご注意

- レコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品も使用しないでください。

取り扱いについてのご注意

- 指紋・油・ゴミなどをつけないでください。
- 表面に傷をつけないよう、特にケースからの出し入れにはご注意ください。
- 曲げたりしないでください。
- 熱を加えないでください。
- 中心の穴を大きくしないでください。
- レーベル面（印刷面）にボールペンや鉛筆などで文字を書かないでください。
- 屋外など寒いところから急に暖かいところへ移すと表面に水滴がつくことがありますが、ヘアードライヤーなどで乾かさないでください。

保存についてのご注意

- 再生後は必ずディスクを取り出してください。
- ほこり・傷・変形などを避けるため、必ずケースに入れてください。
- 次のような場所には置かないでください。
  1．直射日光が長時間当たるところ
  2．湿気・ほこりなどが多いところ
  3．暖房器具などの熱が当たるところ

ディスクを装着する際のご注意

- ディスクは1枚だけ装着してください。2枚以上重ねて装着すると故障の原因となり、ディスクを傷つけることにもなります。
- 8cmディスクは、アダプターを使用せずに確実にディスクガイド（凹部）に合わせて装着してください。正しく装着しないとディスクが脱落しディスクトレイが開かなくなることがあります。
- ディスクトレイが引き込まれるときに指を挟まないようにご注意ください。
- ディスク以外のものをディスクトレイに載せないでください。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
- ディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままDVDプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

8 接続のしかた

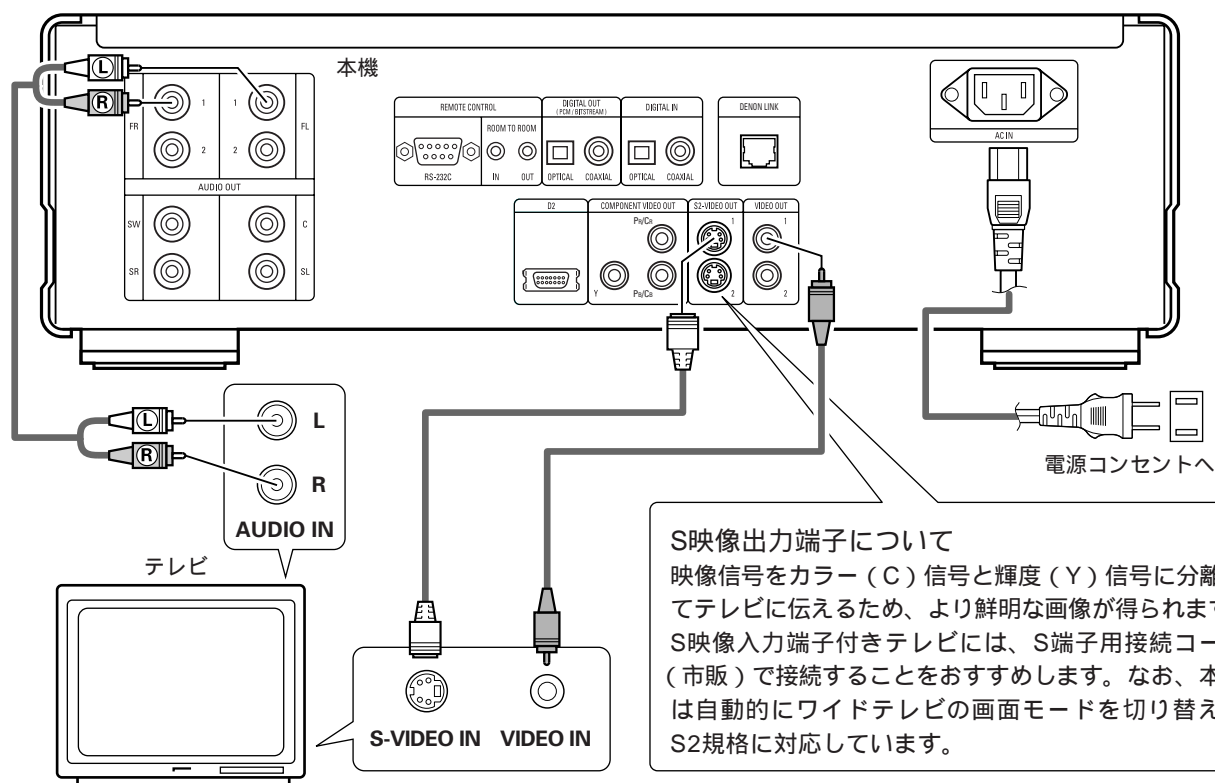
ご注意

- 接続の際は各機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- すべての接続が終わるまで電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 電源を入れたまま接続をおこなうと雑音が発生し、スピーカーを破損することがあります。
- 左右のチャンネルを確かめてから正しくLとL、RとRを接続してください。
- 電源プラグはしっかり差し込んでください。不完全な差し込みは雑音発生の原因となります。
- 電源コードと接続コードを一緒に束ねると、ハムや雑音の原因となることがあります。

(1)ワイドテレビ / AVテレビと接続する(映像端子、S映像端子)

- 音声は付属のオーディオコードでテレビの音声入力端子と本機のAUDIO OUT端子を接続します。
- 映像は付属のビデオコードでテレビの映像入力端子と本機のVIDEO OUT端子、または市販のS端子用コードでS-VIDEO OUT端子を接続します。

S映像出力端子について

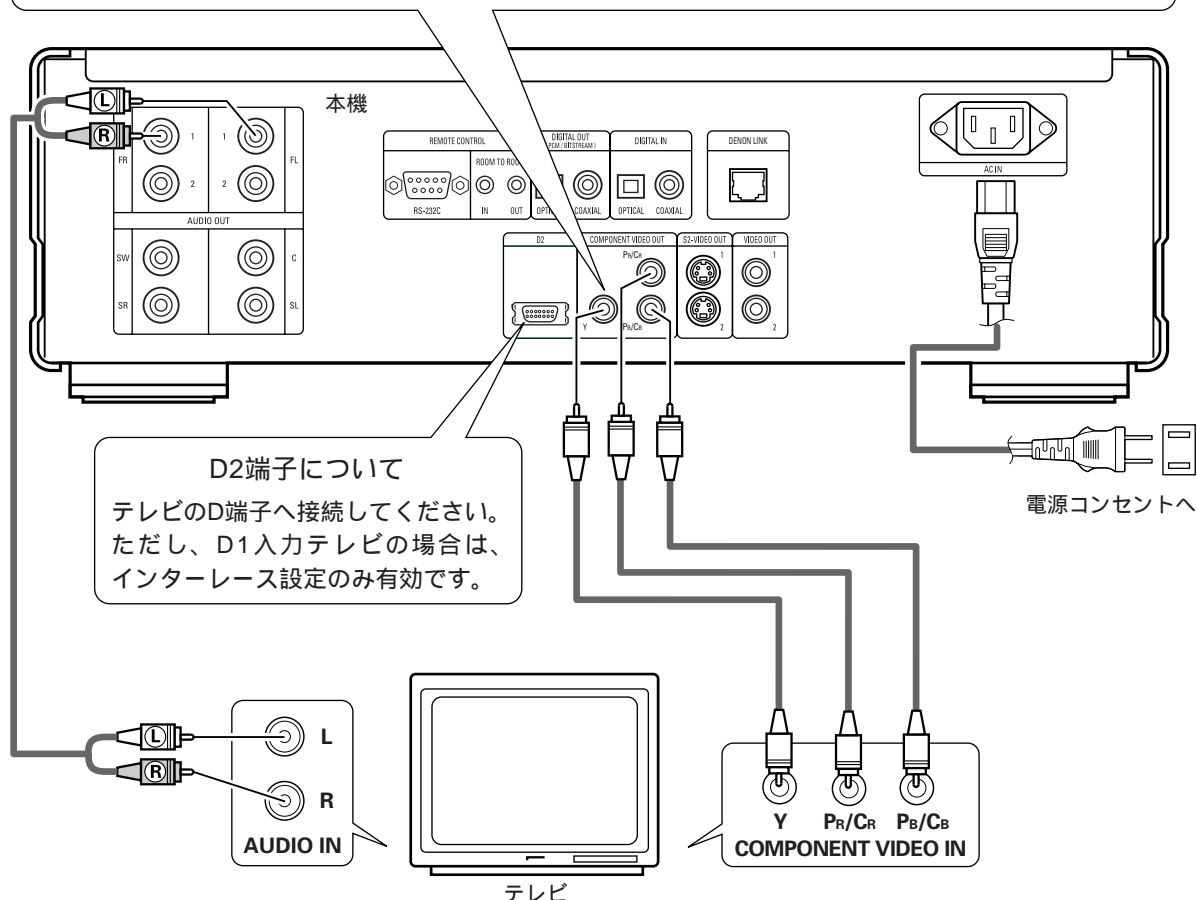
映像信号をカラー(C)信号と輝度(Y)信号に分離してテレビに伝えるため、より鮮明な画像が得られます。S映像入力端子付きテレビには、S端子用接続コード(市販)で接続することをおすすめします。なお、本機は自動的にワイドテレビの画面モードを切り替えるS2規格に対応しています。

ご注意

- 本機の映像出力は直接テレビに接続するか、AVアンプを経由してテレビに接続してください。
  VTR(ビデオテープレコーダ)経由で接続しないでください。
  (ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクをVTRを通して再生するとコピーガードシステムにより、画面が乱れることがあります。)
- 2チャンネル音声出力で使用する場合は、
  『初期設定』で『音声設定』の『オーディオチャンネル』を『2チャンネル』に設定してください。
  (33ページ参照。なお、工場出荷時は『マルチ』に設定されています。)
- ワイドテレビと接続する場合は、
  『初期設定』で『映像設定』の『TVアスペクト』を『ワイド』に設定してください。
  また、通常のテレビと接続する場合は『4:3 PS』、または『4:3 LB』に設定してください。
  (30、31ページ参照。なお、工場出荷時は『ワイド』に設定されています。)
- 映像出力端子・S映像出力端子とテレビを接続する場合は、『初期設定』で『映像設定』の『ビデオ出力』を『INTERLACED』に設定してください。(30、31ページ参照。なお、工場出荷時は『PROGRESSIVE』に設定されています。)

(2) 色差入力端子付きテレビ / モニタと接続する

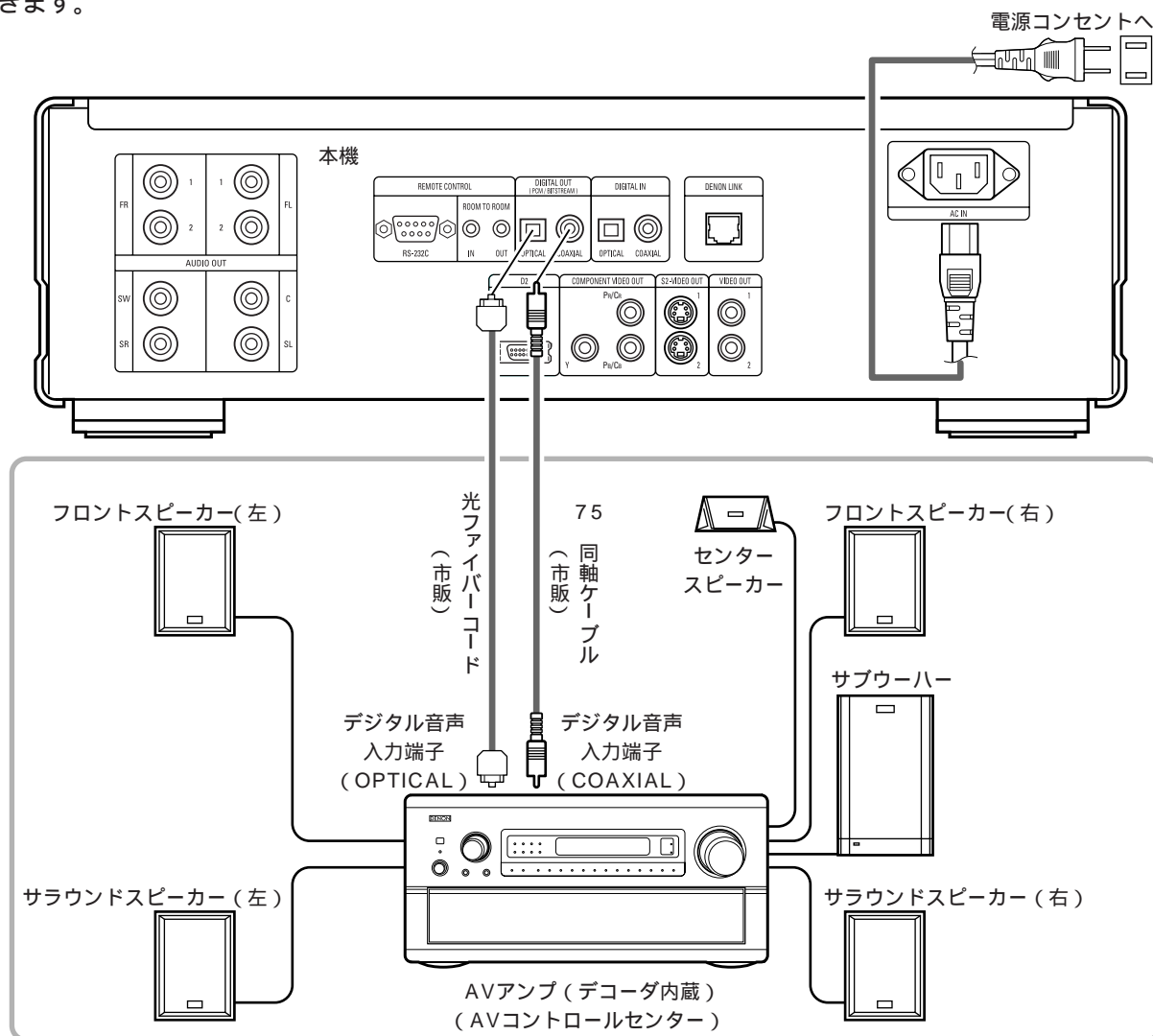
色差映像出力端子（Y、PB/CB、PR/CR）について

DVDに記録されたY信号、PB/CB信号、PR/CR信号がそのまま出力されるため、色をより忠実に再現します。

- テレビやモニタによって色差映像入力端子の表示が異なります。（PR、PB、Y/R-Y、B-Y、Y/CR、CB、Yなど）詳しくはテレビに付属の取扱説明書をよくお読みください。
- **お使いのテレビがプログレッシブスキャンに対応しているときは、このつなぎかたをしてください。**

ご注意

- 色差映像出力端子をテレビ/モニタに接続する場合は、市販のコードを使用してください。
- 2チャンネル音声出力で使用する場合は、
  『初期設定』で『音声設定』の『オーディオチャンネル』を『2チャンネル』に設定してください。
  （33ページ参照。なお、工場出荷時は『マルチ』に設定されています。）
- ワイドテレビと接続する場合は、
  『初期設定』で『映像設定』の『TVアスペクト』を『ワイド』に設定してください。
  また、通常のテレビと接続する場合は『4：3 PS』、または『4：3 LB』に設定してください。
  （30、31ページ参照。なお、工場出荷時は『ワイド』に設定されています。）
- プログレッシブ入力対応テレビを使用する場合には、『初期設定』で『映像設定』の『ビデオ出力』を『PROGRESSIVE』に設定してください。（NTSC方式のみ）
  （30、31ページ参照。なお、工場出荷時は『PROGRESSIVE』に設定されています。）
- 本機のプログレッシブ出力（525P）は、マクロビジョンコピーガード方式に対応しています。
  プログレッシブテレビによっては、本機のプログレッシブ出力に対応しておらず、映像に悪影響が生じる可能性があります。プログレッシブ映像出力においてこのような問題が起きた場合は、『初期設定』で『映像設定』の『ビデオ出力』を『INTERLACED』に切り替えてご使用ください。（30、31ページ参照）

(3) デコーダ内蔵のAVアンプとデジタル接続する

★ ドルビーデジタルまたはDTSで収録されたDVDの再生時は、本機のデジタル音声出力端子からドルビーデジタルまたはDTSのビットストリームが出力されます。ドルビーデジタルデコーダまたはDTSデコーダ内蔵のAVアンプに接続することで、映画館やホールにいるような迫力と臨場感ある音声を楽しむことができます。

ご注意

- DTSに対応していないAVアンプ（デコーダ）を使用する場合は、DTSで収録されたDVDを再生すると耳を刺激するような雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。
- 著作権保護処理がされたリニアPCM、パックドPCMのDVDを再生する場合は、48kHz/16bitを超えるソースは著作権への配慮からデジタル出力されません。このようなソースを再生する場合は、『初期設定』で『音声設定』の『LPCM変換』を『変換する』に設定（35ページ参照）するか、またはアナログ接続をおこなってください。(17ページ参照)
- 96kHz/88.2kHz未対応のAVアンプなどにデジタル接続する場合は、『初期設定』で『音声設定』の『LPCM変換』を『変換する』に設定してください。（35ページ参照）

■ デジタル音声入出力端子（OPTICAL）に光ファイバーコード（市販）を接続するときは

防塵キャップを外し、形状を合わせて
奥までしっかりと差し込んでください。

ご注意

● 防塵キャップは紛失しないように保管し、端子を使わないときは、ほこりがつかないようにキャップを付けてください。

■ 本機のデジタル音声出力端子から出力される音声について

【ビットストリーム出力の場合】

		設定	
		デジタル出力	
	音声記録方式	NORMAL	PCM変換
DVDビデオ	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル ビットストリーム	2チャンネルPCM（48kHz /16bit）
	DTS	DTS ビットストリーム	2チャンネルPCM（48kHz /16bit）

【PCM出力の場合】

			設定		
			LPCM変換モード		
	音声記録方式		変換しない		変換する
			著作権保護あり	著作権保護なし	
DVDビデオ	リニアPCM	48kHz / 16〜24bit	出力しない ＊1	48kHz / 16〜24bit PCM	48kHz / 16bit PCM
		96kHz / 16〜24bit	出力しない	96kHz / 16〜24bit PCM	48kHz / 16bit PCM
DVDオーディオ	リニアPCMまたはパックドPCM	44.1kHz / 16〜24bit	出力しない ＊2	44.1kHz / 16〜24bit PCM	44.1kHz / 16bit PCM
		48kHz / 16〜24bit	出力しない ＊1	48kHz / 16〜24bit PCM	48kHz / 16bit PCM
		88.2kHz / 16〜24bit	出力しない	88.2kHz / 16〜24bit PCM	44.1kHz / 16bit PCM
		96kHz / 16〜24bit	出力しない	96kHz / 16〜24bit PCM	48kHz / 16bit PCM
		176.4kHz / 16〜24bit	出力しない	88.2kHz / 16〜24bit PCM	44.1kHz / 16bit PCM
		192kHz / 16〜24bit	出力しない	96kHz / 16〜24bit PCM	48kHz / 16bit PCM
ビデオCD	MPEG1		44.1kHz / 16bit PCM		44.1kHz / 16bit PCM
音楽CD	44.1kHz / 16bit リニアPCM		44.1kHz / 16bit PCM		44.1kHz / 16bit PCM
MP3 CD	MP3（MPEG-1 Audio Layer 3）		32〜48kHz / 16bit PCM		32〜48kHz / 16bit PCM

＊1：48kHz/16bitのソースは出力されます。
＊2：44.1kHz/16bitのソースは出力されます。

● マルチチャンネルのPCMソースについては2チャンネルにダウンミックスされます。
（ダウンミックスが禁止されているソースでは、FL/FRのみ出力されます。）
● デジタル出力がオフのとき、デジタル音声出力端子からはデジタル音声データが出力されません。（42ページ参照）

ビットストリームとは

圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。
デコーダによって5.1chなどのマルチチャンネル音声にデコード（復号）されます。

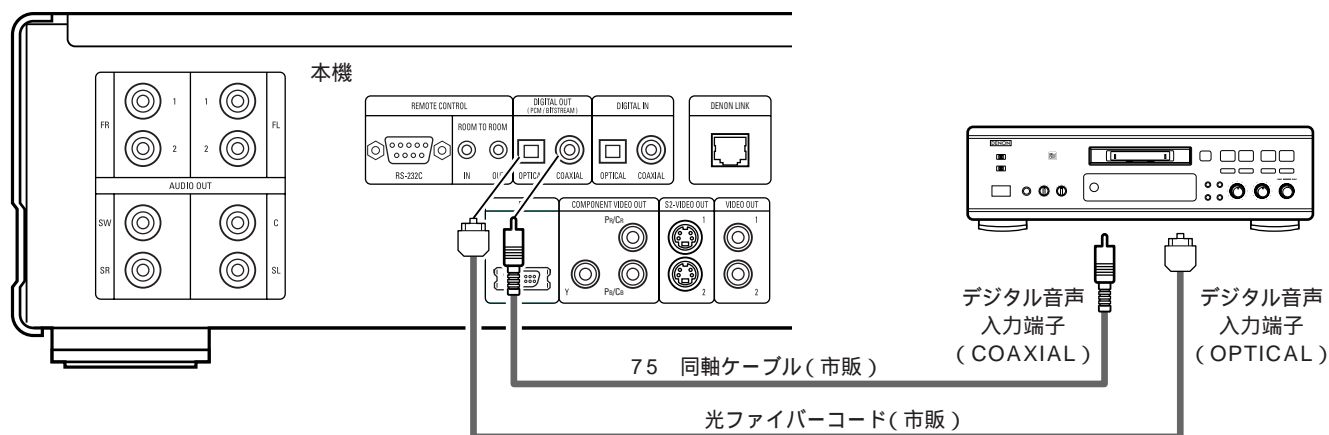
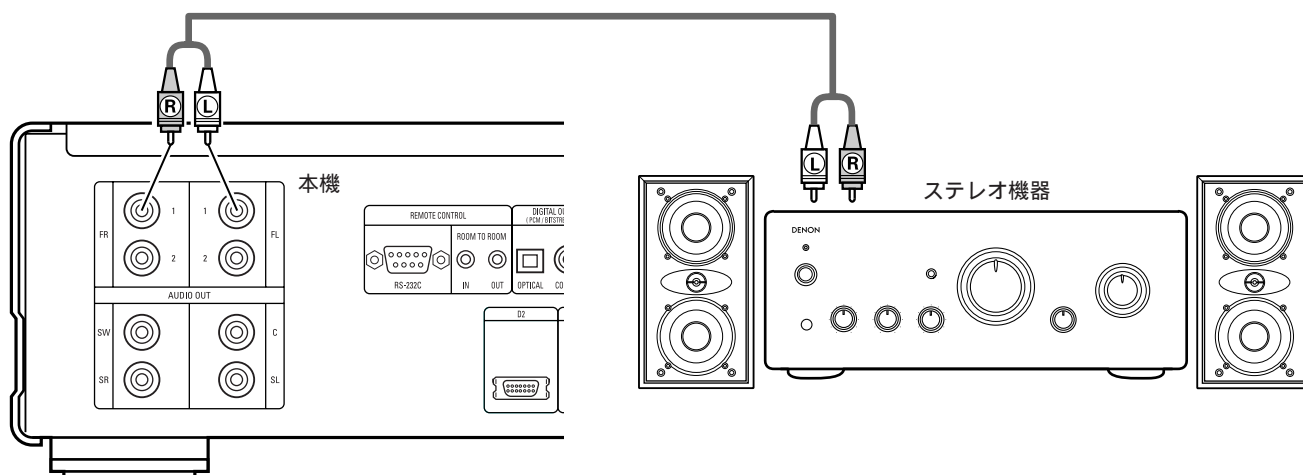
リニアPCM（LPCM）とは

圧縮せずにデジタルに置き換えられた音声信号です。（音楽CDに用いられている信号記録方式です。）
音楽CDでは44.1kHz/16bitで記録されているのに対し、DVDでは44.1kHz/16bit〜192kHz/24bitで記録されていますので、音楽CDよりも高音質の再生が可能です。

パックドPCM（PPCM）とは

PCM信号を圧縮したもので、元の信号に戻したときにデータ劣化がほとんどないという高音質圧縮信号です。

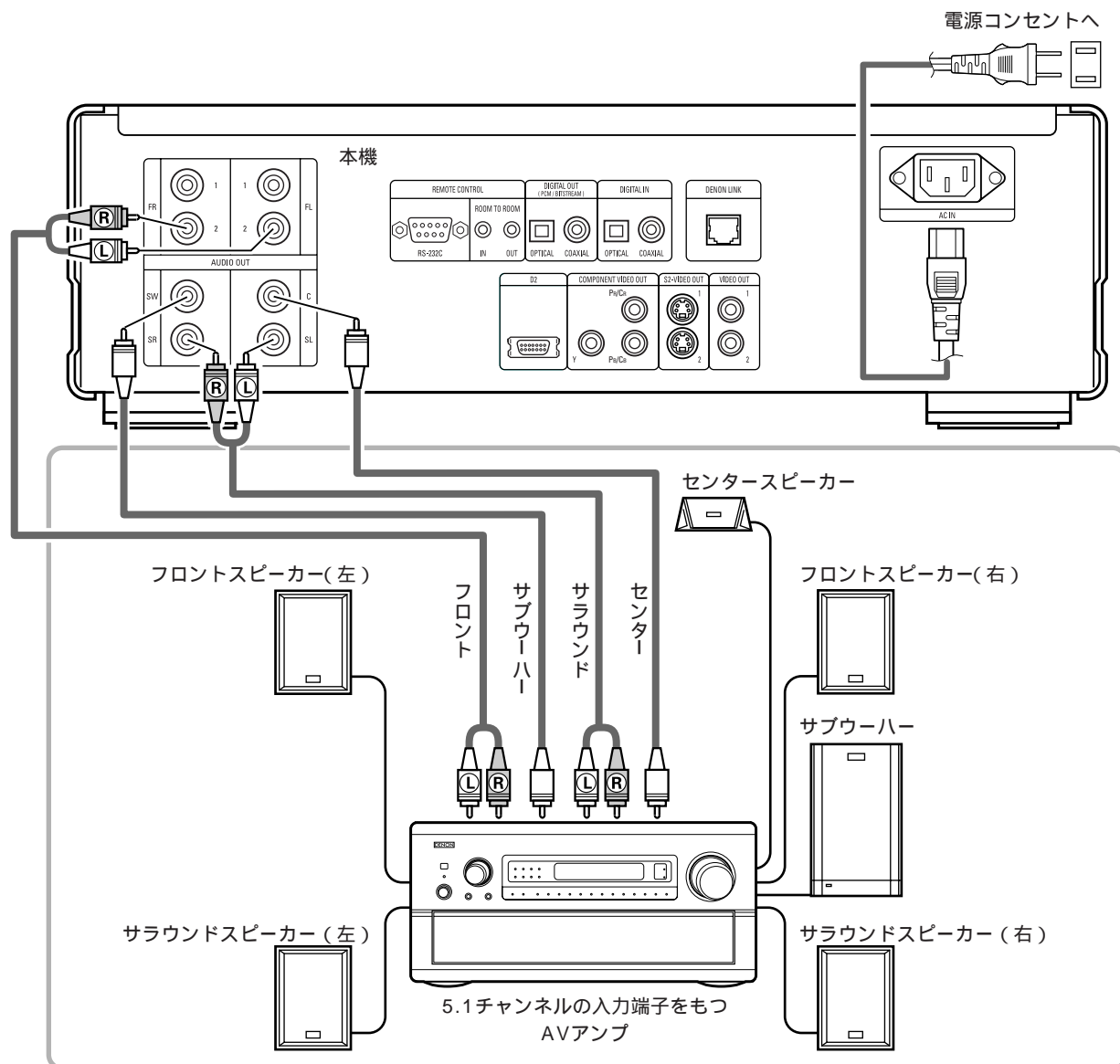
（4）MDレコーダーやDATデッキなどのデジタル録音機器と接続する

※**『初期設定』で『音声設定』の『デジタル出力』を『PCM変換』に設定してください。**（33、35ページ参照）
※**『初期設定』で『音声設定』の『LPCM変換モード』を『変換する』に設定してください。**（33、35ページ参照）
正しく設定せずにDVDを再生すると耳を刺激するような雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。

（5）ステレオ機器と接続する

ご注意

- 2チャンネル音声のステレオ機器と接続する場合は、
  ①『初期設定』で『音声設定』の『オーディオチャンネル』を『2チャンネル』に設定してください。（33ページ参照）マルチチャンネルで記録されているソフトでは、2チャンネルにダウンミックスされたアナログ音声が出力されます。（ダウンミックスが禁止されているソースでは、FL/FRのみ出力されます。）
  ②『初期設定』で『音声設定』の『LPCM変換』を『変換しない』に設定してください。（35ページ参照）（『変換する』に設定した場合、リニアPCMおよびパックドPCMのソースでは48kHzに変換されたアナログ音声が出力されます。）
  ③『ピュアダイレクトモード』で『デジタル出力』を『しない』に設定してください。(42ページ参照)（『する』に設定した場合、196kHz/176.4kHzで記録されたソフトを再生したときは、ディスクによってはそれぞれ96kHz/88.2kHzに変換されたアナログ音声が出力されることがあります。）

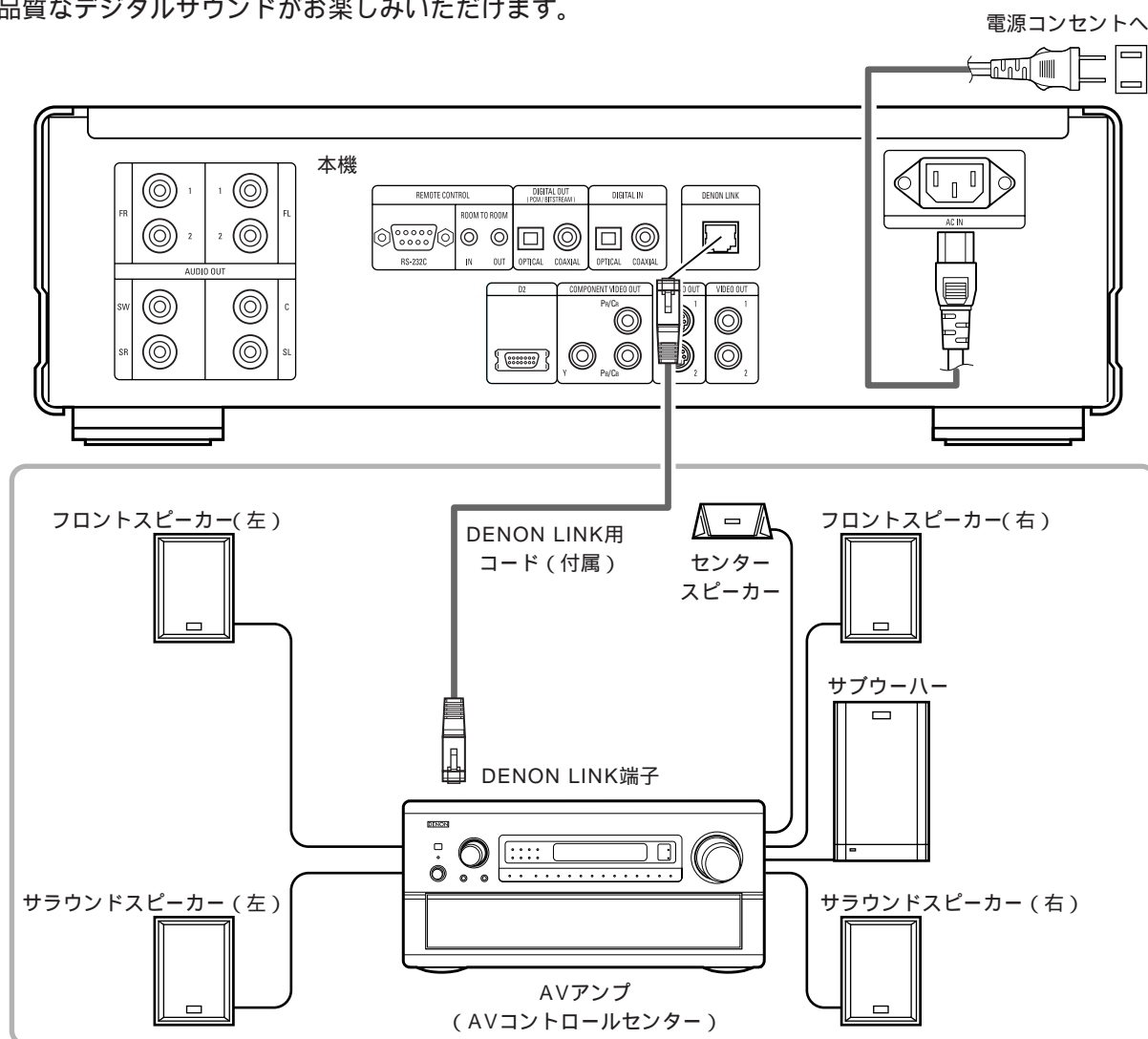
接続のしかた（つづき）

（6）5.1チャンネルサラウンドシステムの基本的な接続

★ 本機はアナログの5.1チャンネル音声出力をおこなうことができます。アナログの5.1チャンネル音声入力を装備したＡＶアンプに接続すると、パックドPCMで記録されているマルチチャンネルの音声がお楽しみいただけます。

ご注意

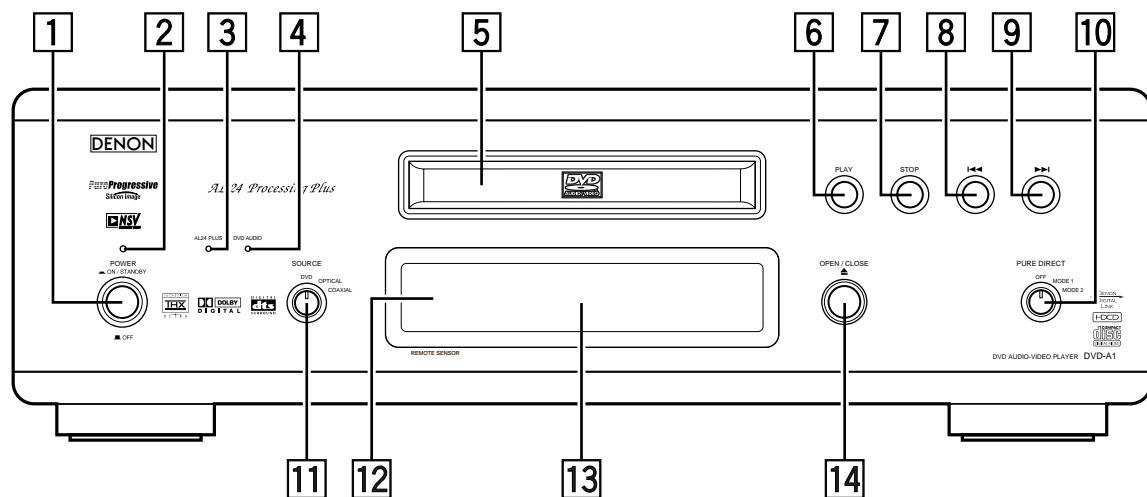
- マルチチャンネルの接続をする場合は、
  ①『初期設定』で『音声設定』の『オーディオチャンネル』を『マルチ』に設定し、『スピーカー設定』、『チャンネルレベル』、『ディレー時間』の各設定をおこなってください。
  （33、34ページ参照。なお、工場出荷時は『マルチ』に設定されています。）
  ②『初期設定』で『音声設定』の『LPCM変換』を『変換しない』に設定してください。（35ページ参照）
  （『変換する』に設定した場合、リニアPCMおよびパックドPCMのソースでは48kHzに変換されたアナログ音声が出力されます。）
- デジタル音声出力とアナログ音声出力を同時に出力する設定で、著作権保護のないDVDを再生する場合は、ディスクによってはアナログ出力が96kHz以下のフロント2チャンネル音声になることがあります。
  著作権保護のないDVDを再生する場合は、『ピュアダイレクトモード』で『デジタル出力』を『しない』に設定してください。（42ページ参照）
- 本機では、デジタル出力系からの干渉を最小限にし、ハイビット、ハイサンプリング、ハイクオリティーのマルチチャンネル音声をお楽しみいただくために、デジタル出力をOFFにしたアナログ出力のみの設定をおすすめします。

（7）DENON LINK接続

★ DENON LINKに対応した別売のＡＶアンプと接続することにより、デジタル転送ロスを少なくしたより高品質なデジタルサウンドがお楽しみいただけます。

ご注意

- DENON LINKは著作権保護のないディスクのみ、デジタル伝送することができます。
- 著作権保護のないリニアPCM、パックドPCMのDVDを再生する場合は、DENON LINK接続をすることによって192kHz/176.4kHzでは24bit/2chまで、96kHz以下では24bit/6chまでデジタル伝送することができます。
- 著作権保護処理がされたリニアPCM、パックドPCMのDVDを再生する場合は、48kHz/16bitを超えるソースは著作権への配慮からDENON LINK端子よりリニアPCM信号は出力されませんので、DENON LINK接続とともにアナログ接続をしてください。（17ページ参照）
  なお、著作権保護処理がされたDVDを再生したとき、本体表示部に“ PROTECTION ”と表示されます。
- 著作権保護のないリニアPCM、パックドPCMのDVDを再生し、DENON LINK端子から出力するには、
  ①『初期設定』で『音声設定』の『LPCM変換』を『変換しない』に設定してください。（35ページ参照）
  （『変換する』に設定した場合、リニアPCMおよびパックドPCMのソースでは48kHz以下に変換された音声が出力されます。）
  ②『ピュアダイレクトモード』で『デジタル出力』を『しない』に設定してください。(42ページ参照)
  （『する』に設定した場合、ディスクによってはDENON LINKおよびアナログ音声出力が96kHz/2ch以下で出力されることがあります。）
- DENON LINK端子からドルビーデジタルやDTSなどのビットストリーム信号を出力するときは、『ピュアダイレクトモード』で『デジタル出力』を『する』に設定してください。(42ページ参照)
- DENON LINK接続をした場合、本機のスピーカー設定は無効になります。

9 各部の名前とはたらき

(1) フロントパネル

① 電源ボタン（POWER）

- 押すと電源が入ります。もう一度押して『OFF』にすると電源が切れます。
- スタンバイ状態にするときは、リモコンのPOWER OFFボタンを押してください。
- スタンバイ状態から電源を『ON』にするときは、リモコンのPOWER ONボタンを押してください。

② 電源表示LED

- 電源が『ON』または『スタンバイ』状態のときに点灯します。

③ AL24 PLUS表示LED

- 新開発アナログ波形再現技術のAL24 Processing Plusで、DVDなどの音声信号をデジタル処理すると点灯します。

④ DVD AUDIO表示LED

- DVDオーディオフォーマットで記憶されたディスクを再生すると点灯します。

⑤ ディスクトレイ

- ディスクを装着するところです。
- 開閉するときは、⑭ OPEN/CLOSEボタンを押してください。
- ⑥ 再生ボタンを押しても閉じます。

⑥ 再生ボタン（PLAY）

- ディスクを再生するときに押します。

⑦ 停止ボタン（STOP）

- ディスク再生を停止させるときに押します。

⑧ スキップボタン（I◀◀）

- 再生中のトラック（チャプター）の頭出しをします。
- さらに押すと、ひとつ前のトラック（チャプター）の頭出しをします。

⑨ スキップボタン（▶▶I）

- 次のトラック（チャプター）の頭出しをします。

⑩ PURE DIRECT切り替えつまみ（PURE DIRECT）

- 映像信号やデジタルオーディオ信号の出力状態を記憶したモードを選択するときに使用します。（42ページ参照）

⑪ 出力ソース切り替えつまみ（SOURCE）

- 出力するプログラムソースを選択するときに使用します。（43ページ参照）
  - **DVD**：本機で再生するディスクの再生信号が出力されます。
  - **OPTICAL**：デジタル入力端子（OPTICAL）に接続されたプログラムソースが出力されます。
  - **COAXIAL**：デジタル入力端子（COAXIAL）に接続されたプログラムソースが出力されます。
- デジタル出力端子にも、このつまみで選択されたプログラムソースが出力されます。

⑫ リモコン受光部

- 付属のリモコン（RC-552）をこの受光部に向けて操作してください。

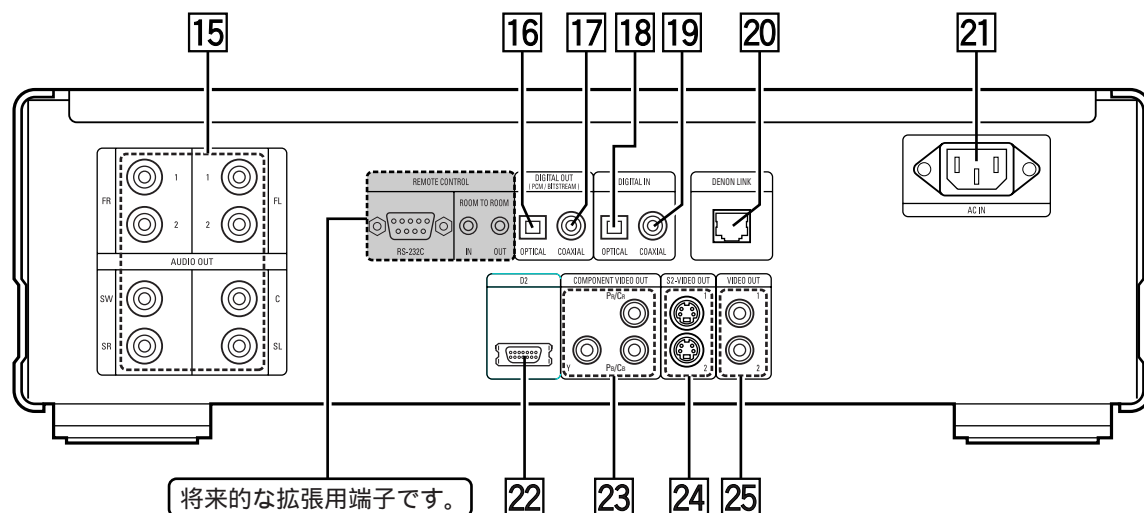
⑬ ディスプレイ

- 21ページを参照してください。

⑭ OPEN/CLOSEボタン（⏏OPEN/CLOSE）

- ディスクホルダーを開閉させるときに押します。

各部の名前とはたらき（つづき）

(2) リアパネル

⑮アナログ5.1チャンネル音声出力端子（AUDIO OUT）

- アンプの音声入力端子に接続すると、本機の音声をアンプを通してスピーカーで聞くことができます。

⑯デジタル音声出力端子（OPTICAL）

- 光ファイバーコード（市販）を接続します。
- デジタルデータを出力します。
- 接続できるコードは、市販のEIAJ規格の光ファイバーコードです。

⑰デジタル音声出力端子（COAXIAL）

- 75Ωのピンコード（市販）を接続します。
- デジタルデータを出力します。
- 接続できるコードは、市販のEIAJ規格の75Ωのピンコードです。

⑱デジタル音声入力端子（OPTICAL）

- デジタルデータを入力します。
- CDプレーヤー、DATデッキ、BS、CSチューナー、MDレコーダーなどのデジタル出力端子（OPTICAL）に接続すると、これらの機器の音声をモニタすることができます。

⑲デジタル音声入力端子（COAXIAL）

- デジタルデータを入力します。
- CDプレーヤー、DATデッキ、BS、CSチューナー、MDレコーダーなどのデジタル出力端子（COAXIAL）に接続すると、これらの機器の音声をモニタすることができます。

⑳DENON LINK端子（DENON LINK）

- DENON LINKを装備している別売のＡＶアンプと組み合わせて接続します。付属のDENON LINK用コードを接続します。

㉑電源入力端子（AC IN）

- 付属の電源コードを接続します。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。
- 本機に付属される電源コードには極性が表示されています。お好みの音質に合わせて電源コンセントに挿入してください。

ご注意

- 電源入力コネクタのアース端子（GND）は接続されておりません。

㉒D2端子（D2）

- D端子用接続コード（市販）を接続します。

㉓色差映像出力端子（COMPONENT VIDEO OUT）

- ビデオコード（市販）を接続します。

㉔S2映像出力端子（S2-VIDEO OUT）

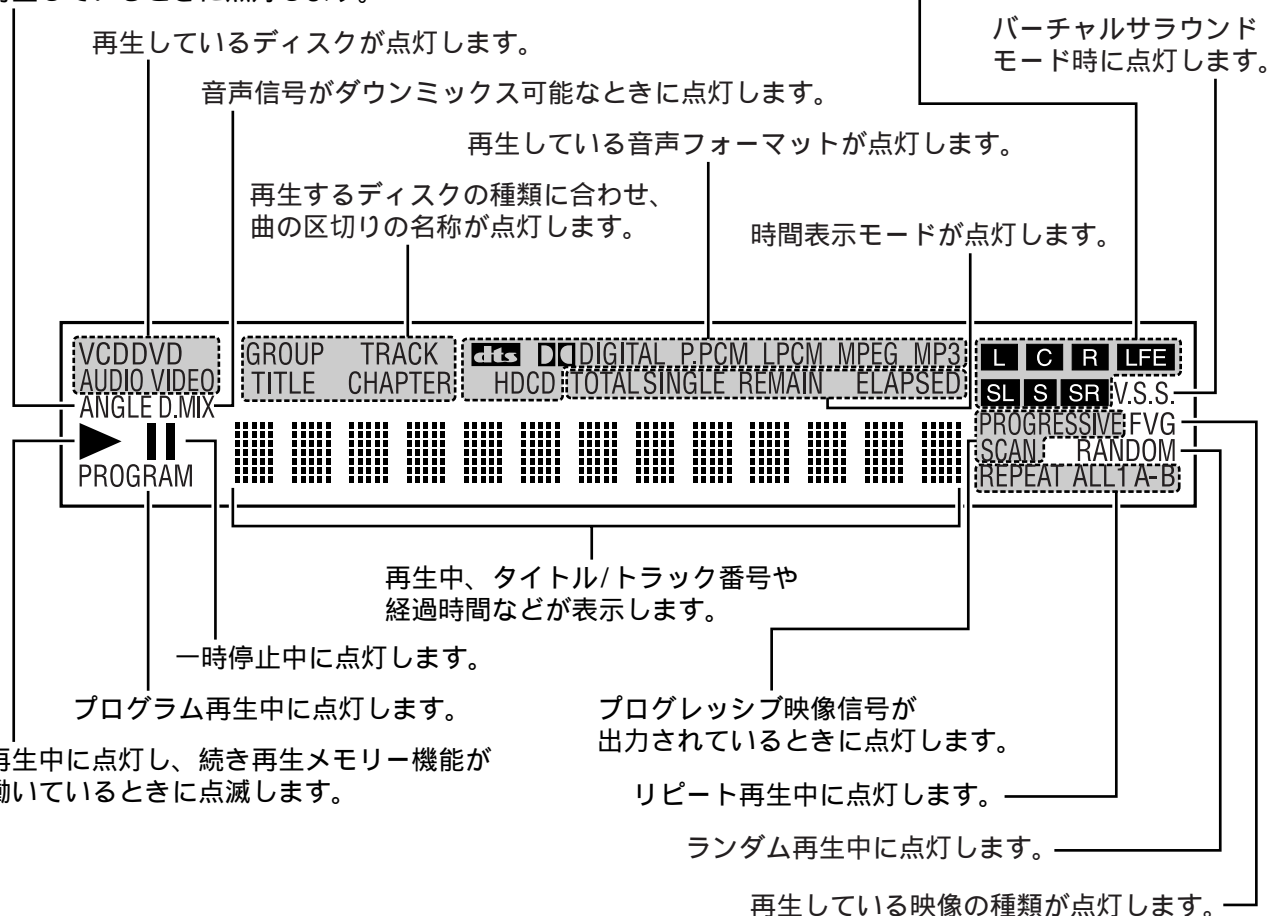
- S端子用接続コード（市販）を接続します。

㉕映像出力端子（VIDEO OUT）

- 付属のビデオコードを接続します。

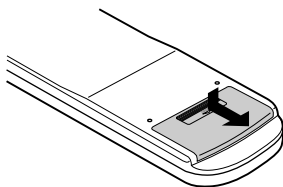
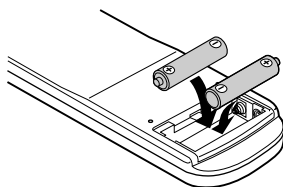
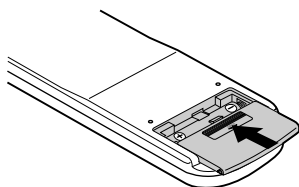
※ EIAJ規格：（社）電子情報技術産業協会（略称JEITA）が制定した規格です。

各部の名前とはたらき（つづき）

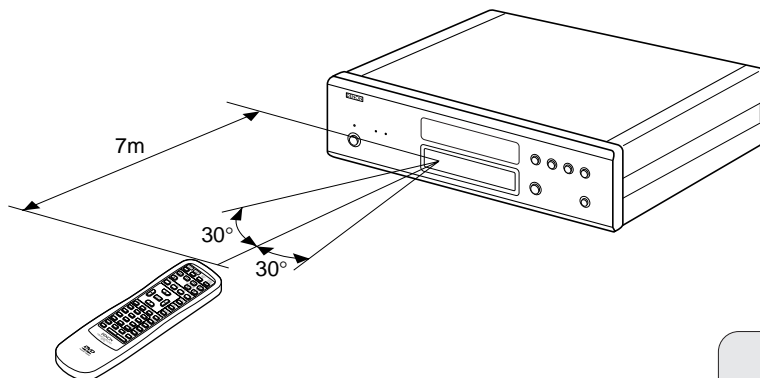
(3) ディスプレイ

10 リモコンについて

★ 付属のリモコン（RC-552）を使うと離れたところから本機をコントロールすることができます。

（1）乾電池の入れかた

① リモコンの裏ぶたを外してください。

② 単3乾電池（2本）をそれぞれ乾電池収納部の表示通りに入れてください。

③ 裏ぶたを元通りにしてください。

乾電池についてのご注意

- リモコンには単3形乾電池をご使用ください。
- リモコンの使用回数にもよりますが、乾電池は約1年毎に新しいものと交換してください。
- 1年経っていなくても、リモコンを本機の近くで操作して本機が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。
- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。
- 新しい乾電池と交換するときはリモコンに使用している乾電池を取り出し、約2分間経過してから新しい乾電池を入れてください。
- 乾電池を入れるときは、リモコンの乾電池収納部の表示通りに⊕側・⊖側を合わせて正しく入れてください。
- 破損・液漏れの恐れがありますので、
  - 新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 乾電池をショートさせたり、分解や加熱、または火に投入したりしないでください。
- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよくふきとってから新しい乾電池を入れてください。

（2）リモコンの使いかた

- リモコンは、図のようにリモコン受光部に向けてご使用ください。
- 直線距離では約7m離れたところまで使用できますが、障害物があったり、リモコン受光部に向いていないと受信距離は短くなります。
- リモコン受光部を基準にして左右30 ° までの範囲で操作できます。

ご注意

- リモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていたり、リモコン受光部との間に障害物があるとリモコンが動作しにくくなります。
- 本体とリモコンの操作ボタンを同時に押さないでください。誤動作の原因になります。

（3）リモコンボタンの名前とはたらき

★ 特に説明のないボタンは、本体のボタンと同じはたらきをします。

POWER ON/OFFボタン
電源をONまたはSTANDBYに切り替えます。

DISPLAYボタン
ON-SCREEN画面を表示します。

SUBTITLEボタン
DVDの字幕言語を切り替えます。

カーソルボタン/ENTERボタン
上下方向の選択をする時には▲ ▼を押します。
左右方向の選択をする時には◄ ►を押します。
▲ ▼ ◄ ►で選択した項目を決定する場合、**ENTERボタン**を押します。

LIGHTINGボタン
約7秒間、乳白色のボタンが点灯します。

PICTURE ADJUSTボタン
お好みの画質に調整するときに押します。

PURE DIRECT MEMORYボタン
より高音質な音声を楽しむために各種設定ができます。

番号ボタン
数字を入力します。
10以上の数字を入力するときは、**+10ボタン**を使用します。
【例】25を入力するとき
+10 → +10 → 5

REPEATボタン
くり返し再生をします。

A-Bボタン
指定した2点間をくり返し再生します。

SETUPボタン
初期設定画面を表示します。

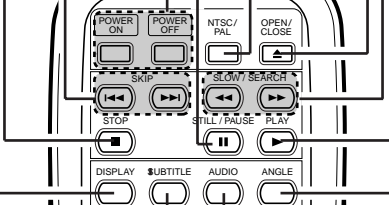
PAGE －/＋ボタン
ブラウザブルの静止画が記録されているDVDオーディオで、好みの静止画像を選ぶときに押します。

RANDOMボタン
ランダム再生をおこなうときに押します。

STILL/PAUSEボタン
映像や音楽を一時的に止めたり、コマ送り再生します。

STOPボタン

SKIPボタン

V.S.S.ボタン
バーチャルサラウンドサウンドを設定します。（ドルビーデジタル2ch以上で収録されたDVDの再生中に働きます。）

NTSC/PALボタン
本機のビデオ出力フォーマット（NTSC/PAL）を切り替えるときに使用します。

OPEN/CLOSEボタン

SLOW/SEARCHボタン
スロー再生をしたり、早送り/早戻しをします。
◄◄：戻し方向 / ►►：送り方向

PLAYボタン

ANGLEボタン
アングル（角度）を切り替えます。

AUDIOボタン
DVDの場合は音声言語を切り替えます。または、ビデオCDの場合は『LR』、『L』、『R』を切り替えます。

TOP MENUボタン
ディスクに収録されているトップメニューを表示します。

MENUボタン
ディスクに収録されているDVDメニューを表示します。

RETURNボタン
メニューを1つ手前に戻します。

ZOOMボタン
映像を拡大するときに押します。

DIMMERボタン
本体のディスプレイの明るさを調整します。OFFから通常点灯まで4段階に切り替えられます。

PROGRAM/DIRECTボタン
プログラム再生をおこなうときに押します。

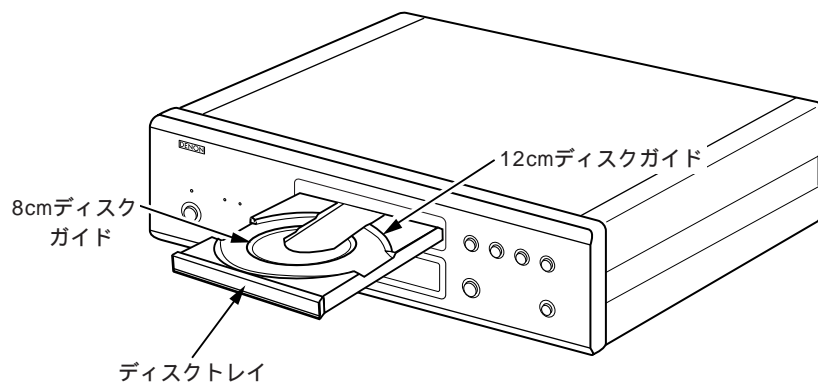
CLEARボタン
入力された数字を取り消します。

CALLボタン
プログラム内容を確認するときに押します。

MARKERボタン
再び見たいところを記憶します。

SEARCH MODEボタン
番号ボタンを使用してダイレクト選曲する際、サーチモードをグループまたはタイトル、およびトラックまたはチャプターに切り替えます。

11 ディスクの入れかた

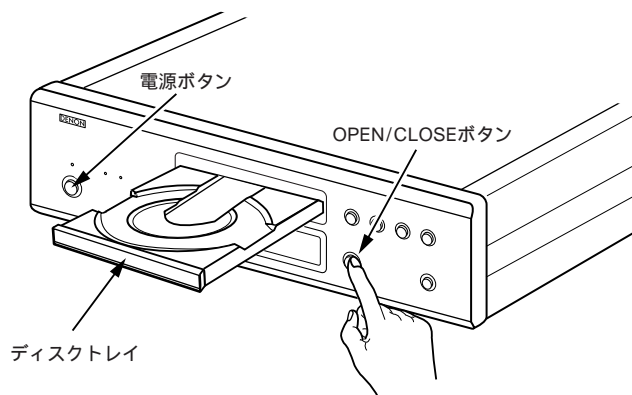
★ ディスクトレイにディスクを載せてください。

ご注意

- ディスクを再生中に本機を移動させないでください。ディスクに傷を付けてしまいます。

(1) ディスクトレイの開閉

① 電源を入れてください。
② **OPEN/CLOSEボタン**を押してください。

ご注意

- ディスクトレイの開閉をするときは、必ず電源を入れてください。
- ボタンを鉛筆などで叩いたりしないでください。

(2) ディスクの入れかた

- ディスク情報面に手が触れないように持ち、ディスクトレイに載せてください。
- ディスクトレイが完全に開いた状態でディスクを載せてください。
- 12cmディスクは外周トレイガイド（図1）に合わせ、8cmディスクは内周トレイガイド（図2）に合わせて水平に載せてください。
- **OPEN/CLOSEボタン**を押すと、ディスクは自動的に装着されます。
- ディスクトレイは、**再生ボタン**（PLAY）を押しても自動的に閉まり、ディスクを装着することができます。

ご注意

- 万一、指などを挟んだ場合は、あわてずに**OPEN/CLOSEボタン**を押してください。
- 電源が切られている状態でディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因となります。
- ディスクトレイに異物を入れないでください。故障の原因となります。

図1

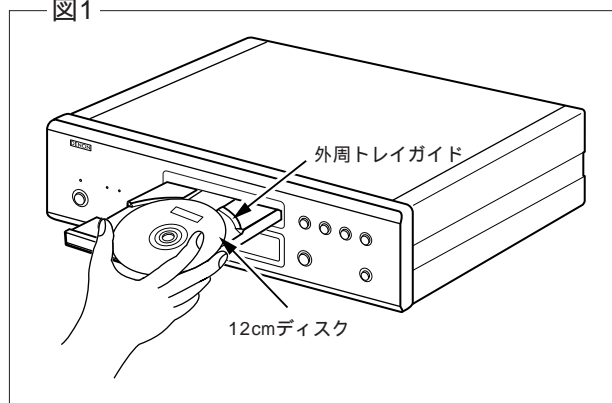
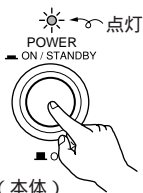
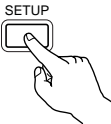
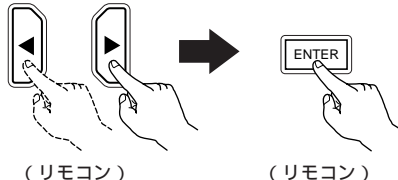
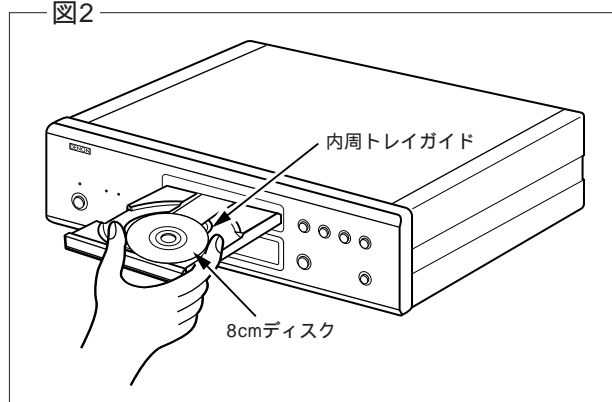



図2

12 初期設定の変更のしかた

★ 再生をはじめる前に、お客様のご使用状態に合わせて初期設定をおこなってください。
初期設定は電源を切っても次に変更するまで保持されます。

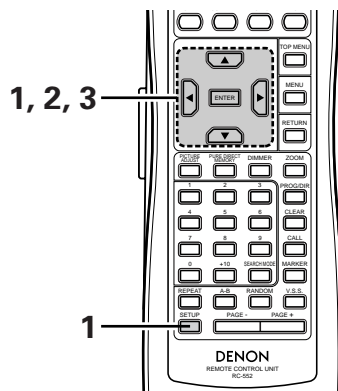
1	**電源を入れます。** ● 本体の**電源ボタン**を押すと、電源表示LEDが点灯し、電源が入ります。	 （本体）
2	**停止中にSETUPボタンを押します。** ※ 再生中でも、一部の項目については初期設定を変更することができます。 ● 初期設定画面が表示されます。 **ディスク言語設定：** ディスクに準備されている各種言語が設定できます。 設定した言語がディスクにないときは、ディスクで決められている言語が選択されます。 **OSD設定：** 初期設定画面の言語やTV画面に表示される " プレイ " などの言語を設定できます。 **映像設定：** ご使用されるテレビの画面モードおよび映像出力モードを設定します。 **音声設定：** 本機の音声出力モードを設定します。 **視聴制限設定：** お子様などに見せたくない成人向けDVDの再生が制限できます。ただし、成人向けDVDでもディスクに視聴制限レベルが記録されていない場合は視聴制限はできません。また、すべてのDVDの再生を禁止することもできます。 **特殊設定：** DVDオーディオの再生モード、クローズド・キャプション（字幕）、音声のダイナミックレンジ圧縮、オートパワーモードおよび静止画再生の間隔時間の設定ができます。	 （リモコン）
3	**カーソルボタン（◀,▶）で設定する項目を選択し、ENTERボタンを押します。** ●**「ディスク言語設定」**を選択（27、28ページ参照） ●**「OSD設定」**を選択（29ページ参照） ●**「映像設定」**を選択（30～32ページ参照） ●**「音声設定」**を選択（33～35ページ参照） ●**「視聴制限設定」**を選択（36、37ページ参照） ●**「特殊設定」**を選択（38、39ページ参照）	（リモコン）　（リモコン）

※ 初期設定を終了するときは
カーソルボタン（▼）で『設定終了』を選択し**ENTERボタン**を押すか、または**SETUPボタン**を押します。

初期設定の変更のしかた（つづき）

【初期設定項目一覧表】

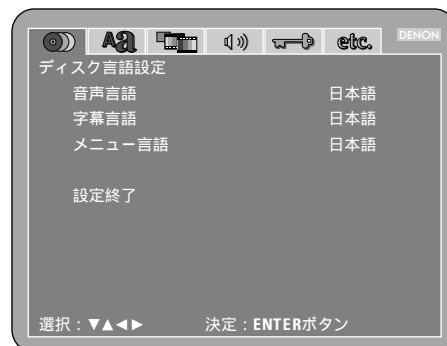
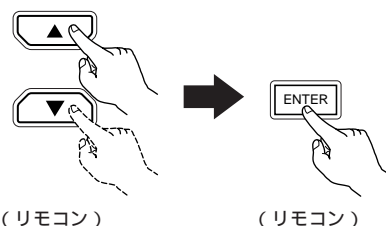
※ 工場出荷時は太字の項目に設定されています。

『ディスク言語設定』を変更するには

1 **25ページの操作*1*～*3*をおこないます。**

2 **カーソルボタン（▲,▼）で設定する項目を選択し、ENTERボタンを押します。**

音声言語
スピーカーから出力される音声言語の設定ができます。

字幕言語
ＴＶに表示される字幕言語の設定ができます。

メニュー言語
トップメニュー（ディスクに記録されているメニュー）などの画面言語の設定ができます。

3 **カーソルボタン（▲,▼）で設定する項目を選択し、ENTERボタンを押します。**

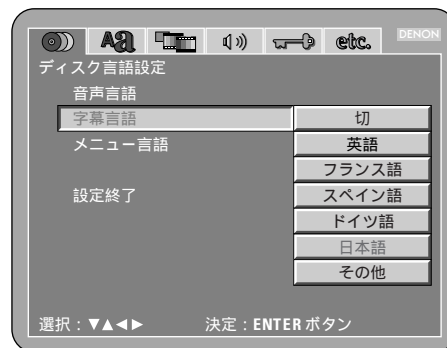
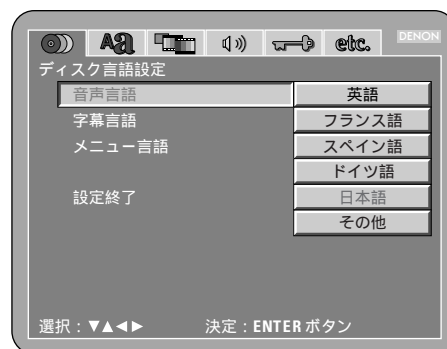
■『音声言語』を選択したとき

それぞれ選択した言語の音声が再生されます。

◎**英語**
◎**フランス語**
◎**スペイン語**
◎**ドイツ語**
◎**日本語 ＜工場出荷時＞**
◎**その他**：番号ボタンで入力した言語の音声が再生されます。（28ページの言語番号一覧表を参照）

■『字幕言語』を選択したとき

それぞれ選択した言語の字幕が再生されます。

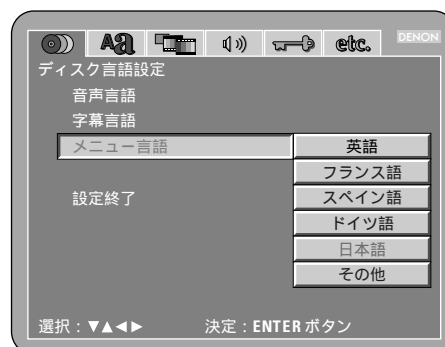
◎**切**：字幕を表示させないときに選択します。ディスクによっては字幕表示を消すことができない場合があります。
◎**英語**
◎**フランス語**
◎**スペイン語**
◎**ドイツ語**
◎**日本語 ＜工場出荷時＞**
◎**その他**：番号ボタンで入力した言語の字幕が再生されます。（28ページの言語番号一覧表を参照）

（次のページに続きます）

初期設定の変更のしかた（つづき）

3 つづき

■『メニュー言語』を選択したとき

それぞれ選択した言語のメニュー画面が再生されます。

◎**英語**
◎**フランス語**
◎**スペイン語**
◎**ドイツ語**
◎**日本語 ＜工場出荷時＞**
◎**その他：** 番号ボタンで入力した言語のメニュー画面が再生されます。（下記の言語番号一覧表を参照）

※初期設定を終了するときは
カーソルボタン（▼）で『設定終了』を選択し**ENTERボタン**を押すか、または**SETUPボタン**を押します。

【言語番号一覧表】

番号	言語名	番号	言語名	番号	言語名	番号	言語名
6565	アファル	7074	フィジー	7665	ラテン	8375	スロバキア
6566	アプハジア	7079	フェロー	7678	リンガラ	8376	スロベニア
6570	アフリカーンス	7082	フランス	7679	ラオ	8377	サモア
6577	アムハラ	7089	フリジア	7684	リトアニア	8378	ショナ
6582	アラビア	7165	アイルランド	7686	ラトビア（レット）	8379	ソマリ
6583	アッサム		（スコットランド）	7771	マダガスカル	8381	アルバニア
6588	アイマラ	7168	ゲール	7773	マオリ	8382	セルビア
6590	アゼルバイジャン	7176	ガリチア	7775	マケドニア	8385	スンダ
6665	バシキール	7178	グアラニー	7776	マラヤーラム	8386	スウェーデン
6669	ベロルシア	7185	グジャラト	7778	モンゴル	8387	スワヒリ
	（白ロシア）	7265	ハウサ	7779	モルダビア	8465	タミル
6671	ブルガリア	7273	ヒンディー	7782	マラッタ	8469	テルグ
6672	ビハール	7282	クロアチア	7783	マライ（マレー）	8471	タジク
6678	ベンガル	7285	ハンガリー	7784	マルタ	8472	タイ
	（バングラ）	7289	アルメニア	7789	ビルマ	8473	ティグリニア
6679	チベット	7365	インターリングア	7865	ナウル	8475	トルクメン
6682	ブルターニュ	7378	インドネシア	7869	ネパール	8476	タガログ
6765	カタロニア	7383	アイスランド	7876	オランダ	8479	トンガ
6779	コルシカ	7384	イタリア	7879	ノルウェー	8482	トルコ
6783	チェコ	7387	ヘブライ	7982	オーリヤ	8484	タタール
6789	ウェールズ	7465	日本語	8065	パンジャブ	8487	トウイ
6865	デンマーク	7473	イディッシュ	8076	ポーランド	8575	ウクライナ
6869	ドイツ	7487	ジャワ	8083	パシュト	8582	ウルドゥー
6890	ブータン	7565	グルジア	8084	ポルトガル	8590	ウズベク
6976	ギリシャ	7575	カザフ	8185	ケチュア	8673	ベトナム
6978	英語	7576	グリーンランド	8277	レトロマンス	8679	ヴォラピュック
6979	エスペラント	7577	カンボジア	8279	ルーマニア	8779	ウォロフ
6983	スペイン	7578	カンナダ	8285	ロシア	8872	コーサ
6984	エストニア	7579	韓国（朝鮮）語	8365	サンスクリット	8979	ヨルバ
6985	バスク	7583	カシミール	8368	シンド	9072	中国語
7065	ペルシャ	7585	クルド	8372	セルボクロアチア	9085	ズールー
7073	フィンランド	7589	キルギス	8373	シンハラ		

初期設定の変更のしかた（つづき）

『OSD設定』を変更するには

1 **25ページの操作*1〜3*をおこないます。**

2 **カーソルボタン（▲,▼）で設定する項目を選択し、ENTERボタンを押します。**

OSD言語

初期設定画面の言語やＴＶ画面に表示される“ プレイ ”などの言語の設定ができます。

壁紙

停止中やCD再生中、ディスプレイに表示する画面の設定ができます。

3 **カーソルボタン（▲,▼）で設定する項目を選択し、ENTERボタンを押します。**

OSD設定
OSD言語　ENGLISH
壁紙　日本語
設定終了
選択：▼▲◀▶　決定：ENTERボタン

■『OSD言語』を選択したとき

◎**ENGLISH**
OSDが英語で表示されます。

◎**日本語 ＜工場出荷時＞**
OSDが日本語で表示されます。

■『壁紙』を選択したとき

◎**青色 ＜工場出荷時＞**
壁紙を青色にします。

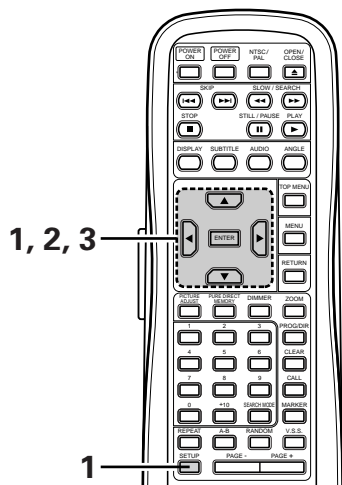
◎**灰色**
壁紙を灰色にします。

◎**黒色**
壁紙を黒色にします。

◎**ピクチャー**
壁紙をピクチャーにします。

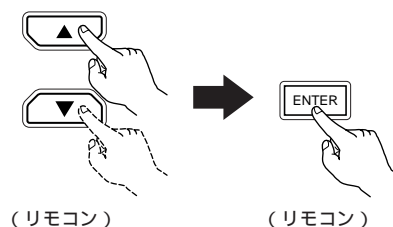
※初期設定を終了するときは
カーソルボタン（▼）で『設定終了』を選択し**ENTERボタン**を押すか、または**SETUPボタン**を押します。

初期設定の変更のしかた（つづき）

『映像設定』を変更するには

1	**25ページの操作*1*～*3*をおこないます。**	
2	**カーソルボタン（▲,▼）で設定する項目を選択し、ENTERボタンを押します。** **TVアスペクト** ご使用されるテレビの画面サイズに応じて設定ができます。 **TVタイプ** ご使用されるテレビの映像方式（NTSC、PAL、マルチ）に応じて設定ができます。 **● 日本国内の映像方式はNTSCです。** **ビデオ出力** 本機の色差映像出力およびD2出力をレンターレースにするか、プログレッシブスキャンにするかの設定ができます。 **ビデオモード** DVDビデオディスクを再生するとき、その素材に最適な設定をビデオ・フィルム・オートの3つの中から選択できます。 **黒レベル** 映像の黒レベルの『暗』『明』が設定できます。 **スクイーズモード** ワイド（16：9）TVを使用し、4：3の映像を再生するときの設定ができます。 **プログレッシブモード** DVDに記録されているフィルムソースとビデオソースの検出方法が設定できます。	

（次のページに続きます）

初期設定の変更のしかた（つづき）

3

カーソルボタン（▲,▼）で設定する項目を選択し、ENTERボタンを押します。

■『TVアスペクト』を選択したとき

◎**4：3 PS**
従来サイズのテレビに接続したときに選択します。
ワイド画面で記録されているソフトでは、パン＆スキャン（左右の切れた画面）で再生します。ただしパン＆スキャン指定されていないソフトはレターボックスで再生します。

◎**4：3 LB**
従来サイズのテレビに接続したときに選択します。
ワイド画面で記録されているソフトではレターボックス（上下に黒い帯のある画面）で再生します。

◎**ワイド ＜工場出荷時＞**
ワイドテレビに接続したときに選択します。
ワイドソフトはフル画面で再生します。

■『TVタイプ』を選択したとき

◎**NTSC ＜工場出荷時＞**
通常は『NTSC』を選択してください。
（日本国内で使われているテレビはNTSC方式です。）

◎**PAL**
ご使用のテレビがPAL方式のときに選択します。

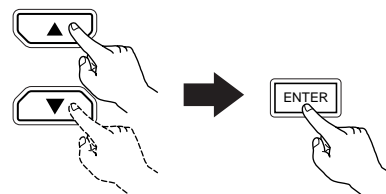
◎**マルチ**
ご使用のテレビがNTSC方式とPAL方式を兼用しているときに選択します。

■『ビデオ出力』を選択したとき

◎**PROGRESSIVE ＜工場出荷時＞**
プログレッシブ方式のテレビと接続し、使用される場合に選択します。

◎**INTERLACED**
インターレース方式のテレビと接続し、使用される場合に選択します。

『ビデオ出力』を選択したときのご注意

- D端子（D2）および色差映像出力（COMPONENT VIDEO OUT）のみインターレース映像出力とプログレッシブ映像出力を切り替えることができます。
- 映像出力（VIDEO OUT）およびS映像出力（S-VIDEO OUT）に対してプログレッシブ映像出力を設定することはできません。
- 『PROGRESSIVE』を選択したときは、映像出力（VIDEO OUT）およびS映像出力（S-VIDEO OUT）から出力されるインターレース方式の映像と音声が多少ずれることがあります。映像出力およびS映像出力を使用してご覧になるときは、『INTERLACED』に設定してください。

（次のページに続きます）

3 つづき

■『ビデオモード』を選択したとき

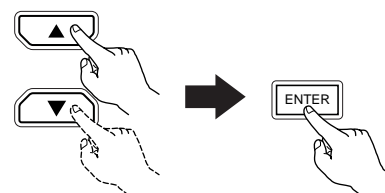
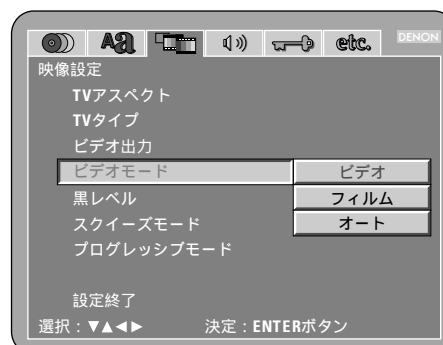
◎**ビデオ <工場出荷時>**
ビデオ素材のディスクの再生に適しています。

◎**フィルム**
フィルム素材、またはプログレッシブスキャン方式で記録されたビデオ素材のディスクの再生に適しています。

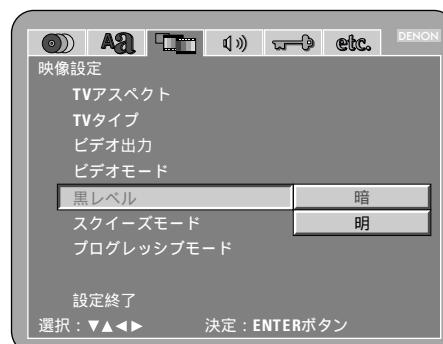
◎**オート**
ディスクから素材のタイプ（フィルムまたはビデオ）を判定して、モードを切り替えます。フィルム素材とビデオ素材が混在しているディスクの再生に適しています。

『ビデオモード』を選択したときのご注意

● 特定のDVDビデオディスクを再生した際に、映像にスジ状のノイズが入ったり、不鮮明になったときは、ビデオモードの設定を変えてみてください。

ENTER

（リモコン）　（リモコン）

■『黒レベル』を選択したとき

◎**暗 <工場出荷時>**
出力信号の黒レベルを基準レベルにします。

◎**明：**黒レベルの基準レベルを上げます。テレビに映る映像が極端に暗いときはこの設定にします。

■『スクイーズモード』を選択したとき

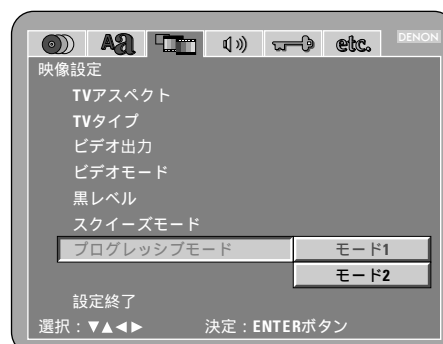
※ **スクイーズモードはプログレッシブ出力に対してのみ有効です。**

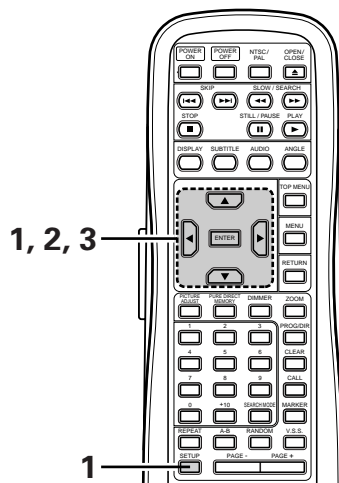
◎**切 <工場出荷時>**
4：3の映像を再生し、16：9のTV画面全体に表示したいときに選択します。

◎**入：**4：3の映像を再生したとき、16：9のTVの中央部に4：3のアスペクトで表示したいときに選択します。

■『プログレッシブモード』を選択したとき

◎**モード1（レベル検出モード） <工場出荷時>**
DVDに記録されている映像信号レベルからソースの種類を高精度で検出するモードです。
フラグ（識別信号）データが誤って記録されているDVDでは、フラグ検出をおこなうと画質が劣化してしまう場合があります。このような場合に有効なモードです。

◎**モード2（フラグ検出モード）**
DVDに記録されているソースのフラグ（識別信号）からソースの種類を検出するモードです。暗いシーンなどで映像信号とノイズ信号との識別がレベル検出では困難となり、画質が劣化してしまう場合があります。このような場合に有効なモードです。

※**初期設定を終了するときは**
カーソルボタン（▼）で『設定終了』を選択し**ENTERボタン**を押すか、または**SETUPボタン**を押します。

『音声設定』を変更するには

1 25ページの操作*1*～*3*をおこないます。

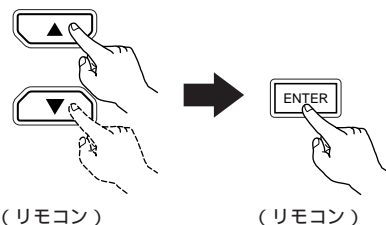
2 **カーソルボタン（▲,▼）で設定する項目を選択し、ENTERボタンを押します。**

オーディオチャンネル
接続したスピーカーシステムの設定ができます。

デジタル出力
デジタル出力の信号形式の設定ができます。

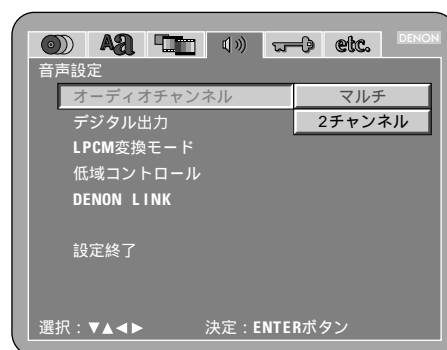
LPCM変換モード
リニアPCM音声で記録されたDVD再生時のデジタル音声出力の設定ができます。

低域コントロール
2チャンネル音声を再生するとき、サブウーハーから音声出力をするかしないかの設定ができます。

DENON LINK
DENON LINK端子からデジタル出力するかしないかの設定ができます。

3 **カーソルボタン（▲,▼）で設定する項目を選択し、ENTERボタンを押します。**

■『オーディオチャンネル』を選択したとき

◎ **マルチ <工場出荷時>**
スピーカーを3本以上接続したシステムでご使用のときに選択します。マルチチャンネルに設定すると、スピーカー設定・チャンネルレベル・ディレー時間が設定できます。

◎ **2チャンネル**
2本のスピーカーを接続したシステムでご使用のときに選択します。

（次のページに続きます）

初期設定の変更のしかた（つづき）

3 つづき

■『マルチ』を選択したときは、『スピーカー設定』画面になります。

カーソルボタン（▲,▼）で設定する項目を選択し、ENTERボタンを押します。

◎**スピーカー設定**
フロントスピーカー、センタースピーカー、サラウンドスピーカー、サブウーハーに使用するスピーカーの種類を選択することができます。

◎**チャンネルレベル**
フロントスピーカー（左/右）、センタースピーカー、サラウンドスピーカー（左/右）、サブウーハーから出力される音量レベルを調整できます。

◎**ディレー時間**
リスニングポジションから各スピーカーの距離を設定するときに使用します。

※**『音声設定』に戻るとき**は、**カーソルボタン（▼）**で『音声設定』を選択し**ENTERボタン**を押します。

①『スピーカー設定』のしかた

カーソルボタン（▲,▼）で設定するスピーカーを選択してENTERボタンを押し、カーソルボタン（▲,▼）でスピーカーの種類を選択してENTERボタンを押します。

◎**大**
大きいスピーカーに接続しているときに選択します。

◎**小**
小さいスピーカーに接続しているときに選択します。

◎**なし**
接続していないときに選択します。

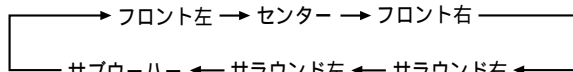
◎**あり**
サブウーハーを接続しているときに選択します。

※**『スピーカー設定』に戻るとき**は、**RETURNボタン**を押します。

②『チャンネルレベル』の設定のしかた

カーソルボタン（▲,▼）で調整するスピーカーを選択し、カーソルボタン（◀,▶）で出力レベルを設定します。

◎テストトーンは**カーソルボタン（◀,▶）**で『切』『2秒』『5秒』『10秒』を選択し、下記の順序でテストトーンを出力します。

フロント左 → センター → フロント右 → サラウンド右 → サラウンド左 → サブウーハー → フロント左

◎音量レベルは0dB〜－10dBまでの範囲で、1dB単位で調整できます。

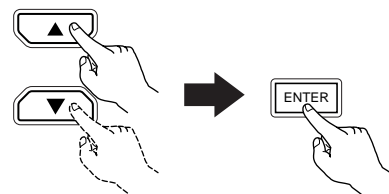
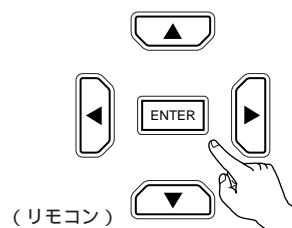
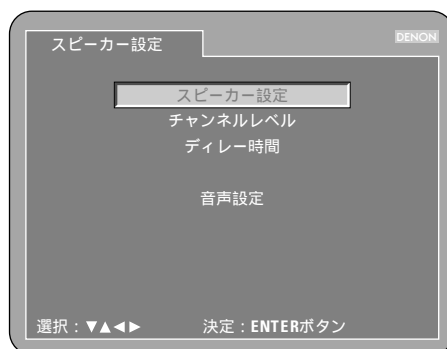
※**『スピーカー設定』に戻るとき**は、**RETURNボタン**を押します。

③『ディレー時間』の設定のしかた

カーソルボタン（▲,▼）で設定するスピーカーを選択し、カーソルボタン（◀,▶）で距離を設定します。

◎距離の単位は**カーソルボタン（◀,▶）**で『メートル』『フィート』を選択します。

◎距離は0m〜18m（0〜60フィート）までの範囲で、0.1m単位（フィートの場合は1フィート単位）で設定できます。
各スピーカーの遠近の差は、4.5m（15フィート）までの範囲で調整できます。

※**『スピーカー設定』に戻るとき**は、**RETURNボタン**を押します。

（次のページに続きます）

3
つづき

■『デジタル出力』を選択したとき

◎**NORMAL ＜工場出荷時＞**
本機のデジタル音声出力端子とドルビーデジタルまたはDTSデコーダ内蔵AVアンプを接続するときに選択します。
ドルビーデジタルまたはDTSで記録されたDVDを再生したとき、それぞれのビットストリーム信号を出力します。また、リニアPCMで記録されたディスクを再生したときはリニアPCMで出力します。

◎**PCM変換**
ドルビーデジタル/DTSで記録されたDVDを再生したときは、48kHz/16bitのPCM（2ch）に変換して出力します。
また、リニアPCMで記録されたディスクを再生したときは、リニアPCMで出力します。

■『LPCM変換モード』を選択したとき

◎**変換しない ＜工場出荷時＞**
著作権保護のないリニアPCM、パックドPCMのDVDの場合、96kHzまでの2ch音声については変換せずにそのままのリニアPCM信号をデジタル出力することができます。
（176.2kHz/192kHzの信号についてはそれぞれ88.2kHz/96kHzに変換されます。）
マルチチャンネルのPCM信号が記録されたDVDでは、FL/FRの2チャンネルにダウンミックスされたデジタル信号が出力されます。（ダウンミックスが禁止されているソースでは、FL/FRのみ出力されます。）
著作権保護処理がされたリニアPCM、パックドPCMのDVDを再生する場合、48kHz/16bitを超えるソースは著作権への配慮からデジタル出力されません。このようなソースを再生する場合は『変換する』に設定するか、アナログ接続をおこなってください。（17ページ参照）
（『LPCM変換』を『変換する』に設定した場合、アナログ出力も48kHz以下になります。）

◎**変換する**
リニアPCM、パックドPCM信号を48kHz以下に変換して出力します。（PCM音声のデジタル出力は著作権への配慮から48kHz以下になります。）
96kHz/88.2kHz未対応のAVアンプなどにデジタル接続する場合、『変換する』にしてください。
なお、デジタル出力とアナログ出力を同時に出力する設定の場合、リニアPCMやパックドPCMで記録されたDVDを再生するときは、アナログ音声も48kHz以下に変換された音声が出力されますので、『変換しない』に設定してアナログ接続することをおすすめします。(17ページ参照)

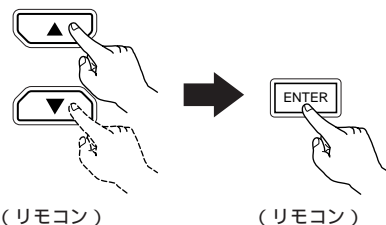
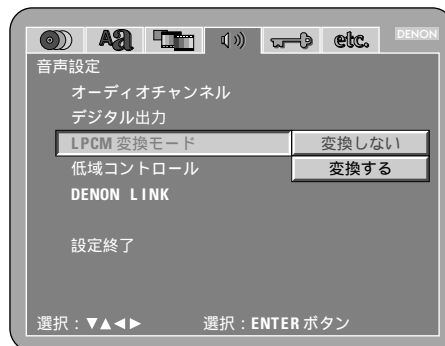
■『低域コントロール』を選択したとき

◎**切 ＜工場出荷時＞**
2チャンネルのソースを再生したとき、サブウーハーから音声が出力されません。

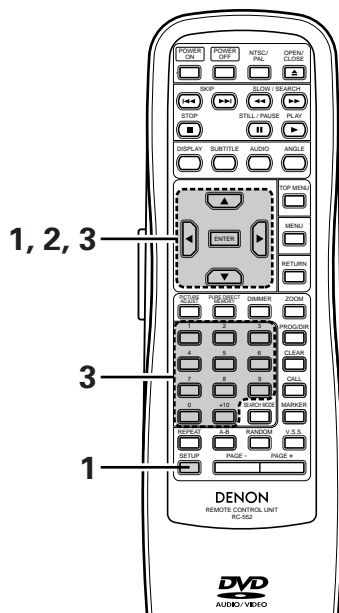
◎**入**
2チャンネルのソースを再生したとき、サブウーハーから音声が出力されます。このとき、『スピーカー設定』でサブウーハーを『あり』に設定してください。

■『DENON LINK』を選択したとき

◎**切 ＜工場出荷時＞**
DENON LINK端子からデジタル音声信号を出力しません。
DENON LINK接続をしないときは『切』に設定してください。

◎**入**
DENON LINK端子からデジタル音声信号が出力されます。
DENON LINK端子に接続することによって192kHz/176.4kHzでは24bit/2chまで、96kHz以下では24bit/6chまでデジタル伝送することができます。（18ページ参照）

※**初期設定を終了するときは**
カーソルボタン（▼）で『設定終了』を選択し**ENTERボタン**を押すか、
または**SETUPボタン**を押します。

初期設定の変更のしかた（つづき）

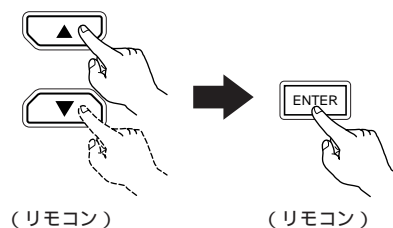
『視聴制限設定』を変更するには

1 **25ページの操作*1*～*3*をおこないます。**

2 **カーソルボタン（▲,▼）で設定する項目を選択し、ENTERボタンを押します。**

視聴制限レベル

お子さまなどに見せたくない成人向けDVDの再生が制限できます。ただし、成人向けDVDでもディスクに視聴制限レベルが記録されていない場合は視聴制限できません。また、すべてのDVDの再生を禁止することもできます。

パスワード

パスワードの変更をするときに使用します。
パスワードの初期設定は“ 0000 ”です。

3 **■『視聴制限レベル』を選択したとき**

① カーソルボタン（▲,▼）で設定するレベルを選択し、ENTERボタンを押します。

◎ **レベル0**
すべてのDVDの再生を禁止したいときに選択します。
例えば、視聴制限が記録されていない成人向けDVDの再生を禁止したいときなど。

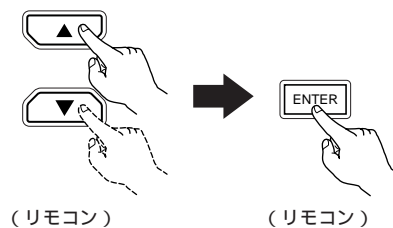
◎ **レベル1**
子供向けのDVDのみを再生したいときに選択します。
（成人向けと一般向けのDVDの再生を禁止します。）

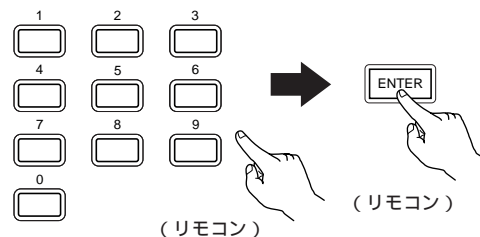
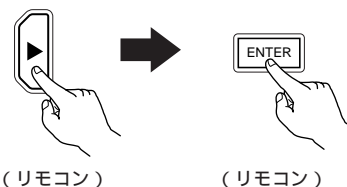
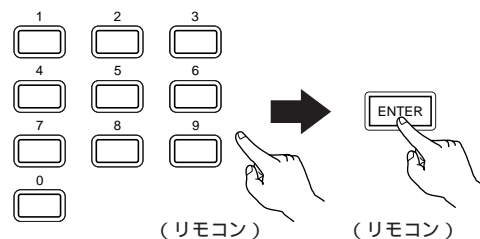
◎ **レベル2～レベル7**
一般向けと子供向けのDVDのみを再生したいときに選択します。（成人向けDVDの再生を禁止します。）

◎ **制限しない <工場出荷時>**
すべてのDVD（成人向け/一般向け/子供向け）を再生したいときに選択します。

（次のページに続きます）

初期設定の変更のしかた（つづき）

3
つづき

② 番号ボタンでパスワード（4桁の数字）を入力し、ENTERボタンを押します。

- パスワードの初期設定は " 0000 " です。
- パスワードを変更する場合は、『パスワード』で新しいパスワードに変更できます。（下記参照）

■『パスワード』を選択したとき

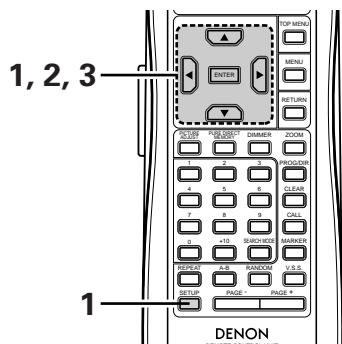
① カーソルボタン（▶）で『変更』を選択し、ENTERボタンを押します。

② 番号ボタンで前に設定したパスワード（4桁の数字）を入力し、次に新しいパスワードを入力して、再度新しいパスワードを入力後ENTERボタンを押します。

- 本機のパスワードの初期設定は " 0000 " です。
- **パスワードは忘れないようにしてください。**
- 正しいパスワードを入力しない限り設定内容を変更できません。

※ **初期設定を終了するときは**
カーソルボタン（▼）で『設定終了』を選択し**ENTERボタン**を押すか、または**SETUPボタン**を押します。

初期設定の変更のしかた（つづき）

『特殊設定』を変更するには

1 **25ページの操作*1*〜*3*をおこないます。**

2 **カーソルボタン（▲,▼）で設定する項目を選択し、ENTERボタンを押します。**

プレーヤーモード
DVDオーディオに含まれるDVDビデオコンテンツを再生したいときに、DVDビデオ再生モードに設定できます。

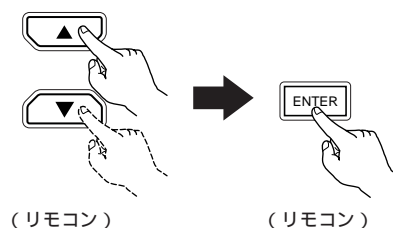
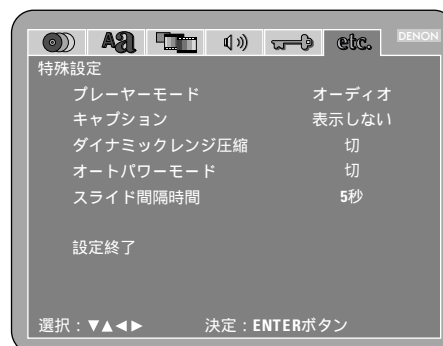
キャプション
DVDに記録されているクローズド・キャプション（字幕）を画面に表示させるか、させないかの設定ができます。（字幕を表示させるにはキャプションデコーダ（市販）が必要です。）

ダイナミックレンジ圧縮
DVDを再生したときに出力される音のダイナミックレンジが設定できます。

オートパワーモード
節電のため長時間使わないときに、本体の電源を自動的にスタンバイ状態にすることができます。

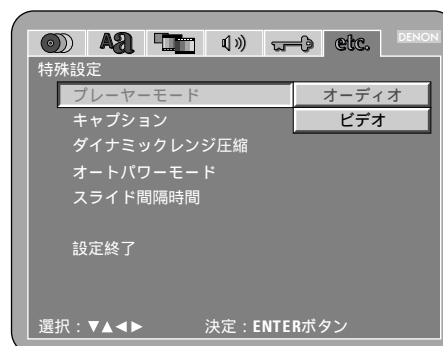
スライド間隔時間
静止画（JPEG方式）再生において、次の静止画に切り替わる間隔時間が設定できます。

ダイナミックレンジとは

機器が出すノイズに埋もれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。

（リモコン）　　（リモコン）

3 **カーソルボタン（▲,▼）で設定する項目を選択し、ENTERボタンを押します。**

■『プレーヤーモード』を選択したとき

◎ **オーディオ <工場出荷時>**
DVDオーディオをそのまま再生するときに選択します。

◎ **ビデオ**
DVDオーディオに含まれるDVDビデオコンテンツを再生するときに選択します。

（次のページに続きます）

初期設定の変更のしかた（つづき）

3 つづき

■『キャプション』を選択したとき

◎**表示しない <工場出荷時>**
キャプション（字幕）を画面に表示しないときに選択します。

◎**表示する**
キャプション（字幕）入りDVDを再生し、そのキャプション（字幕）を画面に表示するときに選択します。

■『ダイナミックレンジ圧縮』を選択したとき

◎**切 <工場出荷時>**
標準的なダイナミックレンジに設定します。

◎**入**
小さい音量でも迫力のある音にしたいときに選択します。
深夜など小さい音量で楽しまれる場合に適しています。
（ドルビーデジタルで記録されたDVDの再生中に限ります。）

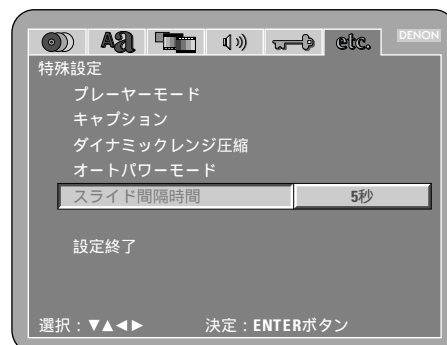
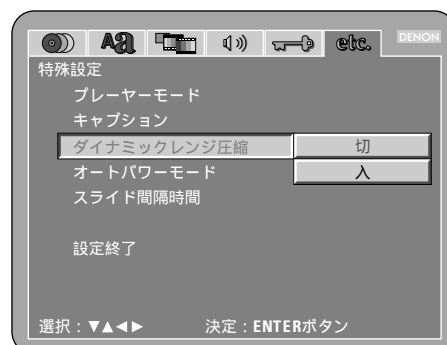
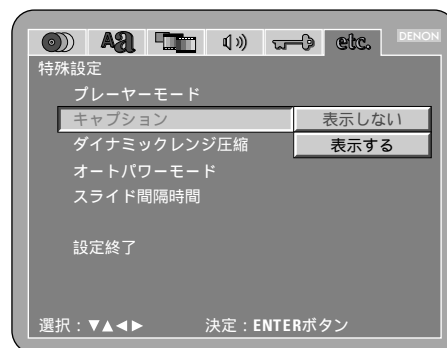
■『オートパワーモード』を選択したとき

◎**切 <工場出荷時>**
電源を自動的にスタンバイ状態にしないときに選択します。

◎**入**
停止状態で約30分経過すると自動的に本体の電源が切れ、スタンバイ状態にしたいときに選択します。

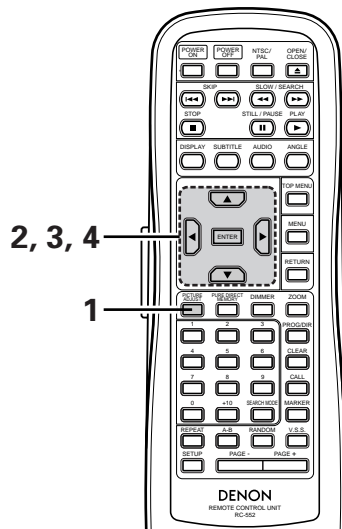
■『スライド間隔時間』を選択したとき

◎**5〜15秒**までの範囲で、1秒単位で設定できます。
<工場出荷時：5秒>

※**初期設定を終了するときは**
カーソルボタン（▼）で『設定終了』を選択し**ENTERボタン**を押すか、または**SETUPボタン**を押します。

『キャプション』を選択したときのご注意

- 字幕を表示させるには、キャプションデコーダが必要です。
- 字幕信号入りのDVDには [mark]、[mark]、[CC] のマークが表示されています。字幕信号が入っていないDVDでは字幕は出ません。
- 字幕の文字には大文字、小文字、イタリック文字（斜体）などがありDVDによって異なります。本機では選択できません。

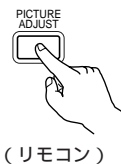
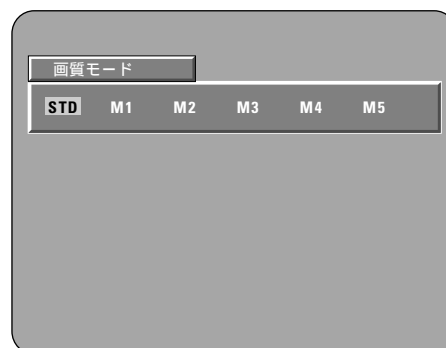
13 画質調整のしかた

1

再生中または一時停止中に
PICTURE ADJUSTボタンを押します。

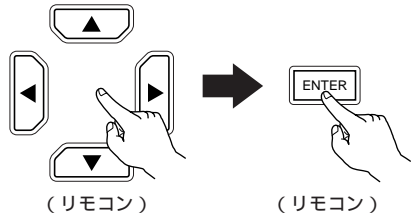
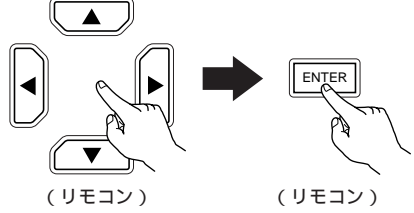
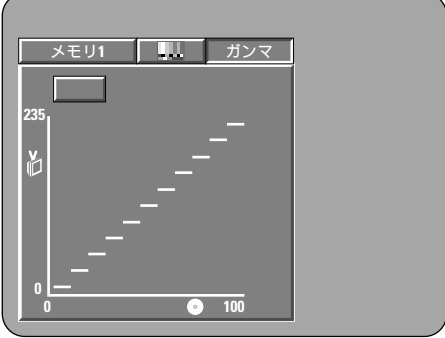
● 画質調整画面が表示されます。

◎ **STD**
工場出荷時の設定に戻ります。

◎ **M1〜M5**
お好みで調整した画質設定をメモリ1〜5までの5種類記憶させることができます。

2

カーソルボタン（◄,►）でメモリを選択し、
ENTERボタンを押します。

◎ **画質調整**
コントラスト・ブライトネス・シャープネス・色合いが調整できます。→操作*3* に進んでください。

◎ **ガンマ補正**
映像の暗い部分が埋もれたり、明るい部分が必要以上に明るすぎたりしたときに選択します。（インターレース出力では効果がありません。）→操作*4* に進んでください。

（次のページに続きます）

3

【画質調整を選択し調整する場合】

カーソルボタン（▼）を押して、
カーソルボタン（◄,►）で画質調整項目を選択し、
カーソルボタン（▲,▼）で調整値を設定して
ENTERボタンを押します。

- 調整した内容がすべて記憶されます。

◎**コントラスト**（−6〜+6） **<工場出荷時：0>**
映像の明暗の差を調整します。

◎**ブライトネス**（0〜+12） **<工場出荷時：0>**
映像の明るさを調整します。

◎**シャープネス**（−6〜+6） **<工場出荷時：0>**
映像の輪郭を強調します。

◎**色合い**（−6〜+6） **<工場出荷時：0>**
緑色と赤色のバランスを調整します。
（プログレッシブスキャン出力では効果がありません。）

4

【ガンマ補正を選択し調整する場合】

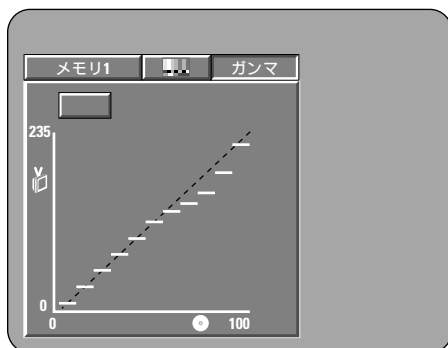
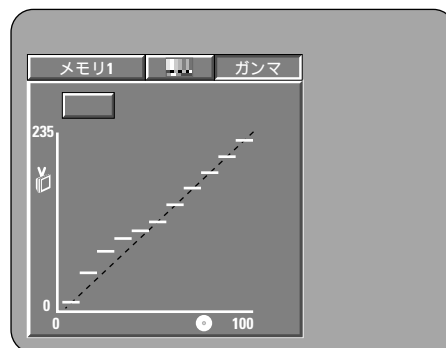
カーソルボタン（▼）を押して、
カーソルボタン（◄,►）で設定するポイントを選択し、
カーソルボタン（▲,▼）で明るさのレベルを調整して
ENTERボタンを押します。

- 調整した内容がすべて記憶されます。
- 明るさのレベルは16〜235の範囲で調整できます。
- **カーソルボタン（▲）**を押すとレベルが上がり（明るくなる）、**カーソルボタン（▼）**を押すとレベルが下がり（暗くなる）ます。
- **CLEARボタン**を押すとすべての設定ポイントが基準レベルに戻ります。

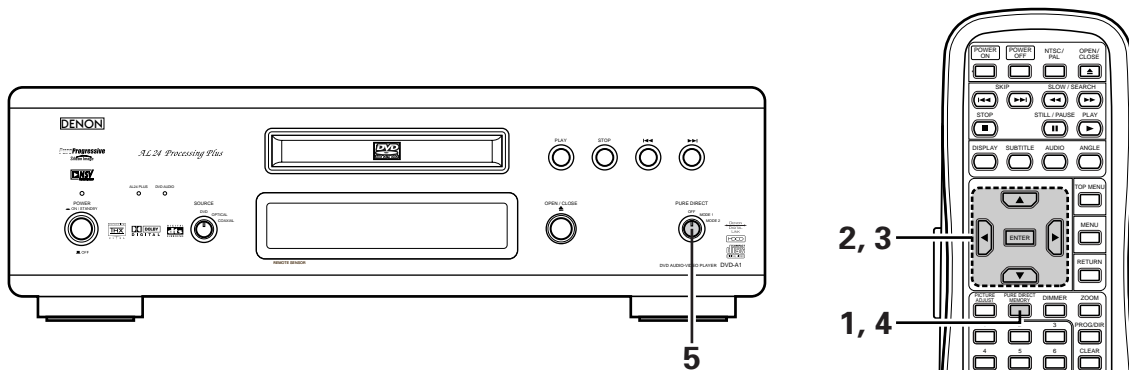
※**選択したポイントのレベルはそのポイントの上下のポイントのレベルを超えることはできません。（暗い部分がそれより明るい部分を超えるような設定はできません。）**

※**画質調整を終了するときは**
PICTURE ADJUSTボタンを再度押します。

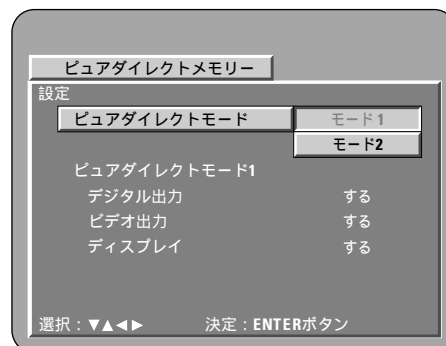
【参考】

ガンマ補正の表示は横軸がディスクに記録されている映像の輝度レベルを表わし、縦軸は本機から出力するときの映像の輝度レベルを表わします。

◎ディスク側の明るいポイントを出力側の『暗』に調整すると、通常では明るい部分の細部が見えにくくなるものが見やすい映像になります。

◎ディスク側の暗いポイントを出力側の『明』に調整すると、通常では暗い部分の細部が見えにくくなるものが見やすい映像になります。

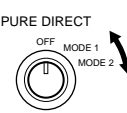
14 ピュアダイレクトの使いかた

★ 映像信号などの出力を止め、アナログ音声信号のみを出力することで高音質な音声が楽しめます。

1 **停止中にリモコンのPURE DIRECT MEMORYボタンを押します。**

● ピュアダイレクトメモリ画面が表示されます。

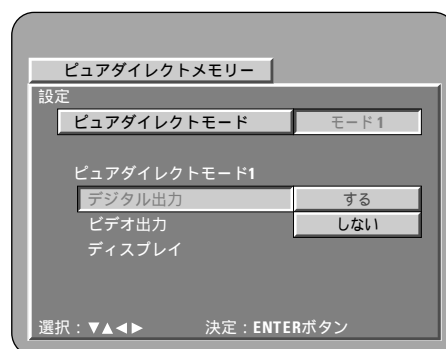
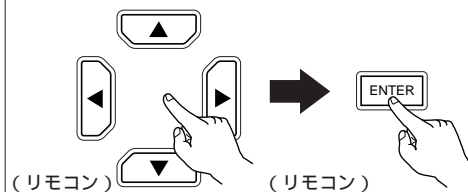
PURE DIRECT MEMORY

（リモコン）

2 **リモコンのカーソルボタン（▲,▼）でモードを選択し、ENTERボタンを押します。**

● お好みに応じて、映像信号などの出力状態をモード1、モード2に記憶します。

3 **リモコンのカーソルボタン（▲,▼）で設定する項目を選択し、カーソルボタン（►）を押してカーソルボタン（▲,▼）で『する』『しない』を選択します。**

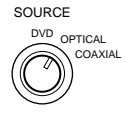
◎デジタル出力
する　：デジタル音声出力端子に信号を出力します。
しない：デジタル音声出力端子に信号を出力しません。

◎ビデオ出力
する　：映像信号を出力します。
しない：映像信号を出力しません。

◎ディスプレイ
する　：本体のディスプレイに表示します。
しない：本体のディスプレイに表示しません。

<工場出荷時の設定>

◎ モード1：
デジタル出力『する』
ビデオ出力　『する』
ディスプレイ『する』

◎ モード2：
デジタル出力『する』
ビデオ出力　『する』
ディスプレイ『する』

（次のページに続きます）

ピュアダイレクトの使いかた（つづき）

4 **リモコンのPURE DIRECT MEMORYボタンを押します。**

● 設定した内容をすべて記憶します。

PURE DIRECT MEMORY

（リモコン）

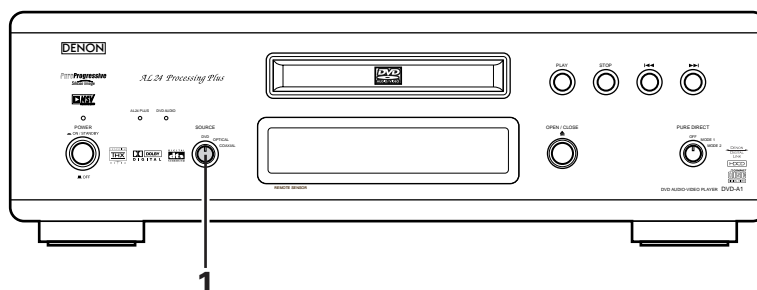
5 **本体のPURE DIRECT切り替えつまみを切り替えます。**

◎OFF　　：通常どおり、すべての信号を出力します。
◎MODE1：モード1に設定した内容で動作します。
◎MODE2：モード2に設定した内容で動作します。

PURE DIRECT
OFF MODE 1 MODE 2

（本体）

15 外部モニタの使いかた

★ 本機は外部デジタル機器とデジタル接続することにより、D/Aコンバータとして使用することができます。

1 **出力ソース切り替えつまみで『OPTICAL』または『COAXIAL』に切り替えます。**

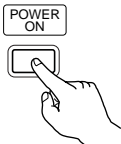
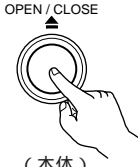
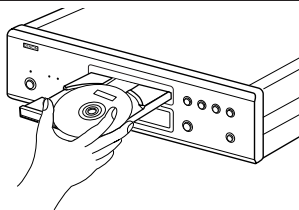
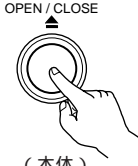
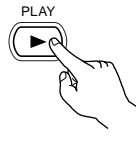
● トラック番号表示部に“ ーー ”表示されます。その後、外部入力信号のサンプリング周波数が表示されます。（サンプリング周波数を検出できない場合は“ ーー ”が表示されます。）

（本体）

ご注意

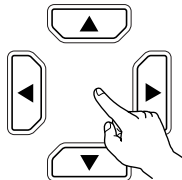
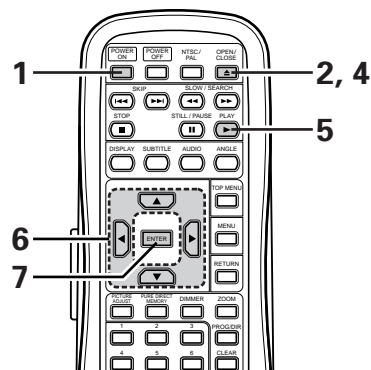
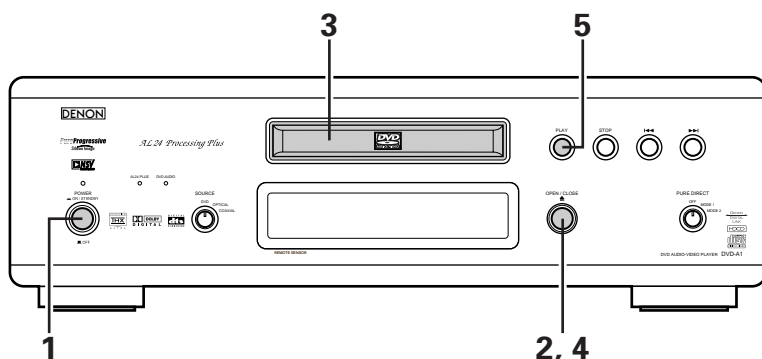
● 外部モニタとしてD/A変換できるソースは32、44.1、48、88.2、96kHz/16〜24bitのPCM信号のみです。ドルビーデジタルおよびDTSビットストリーム信号の変換はできません。

● デジタル入力端子から入力されたデジタルデータは、デジタル出力端子からも同じデータが出力されます。（このときピュアダイレクトモードの設定とは関係なくデジタル出力されます。）

● 出力ソース切り替えつまみを『OPTICAL』または『COAXIAL』に設定した場合は、電源ボタン・OPEN/CLOSEボタン以外は受け付けません。

● 本機でDVDやCDなどを再生中に、出力ソース切り替えつまみを『OPTICAL』または『COAXIAL』に切り替えると再生が停止します。

● CD-ROMなどのデジタルデータを入力すると雑音が出力されます。

● CS放送のAモード→Bモードなどサンプリング周波数が切り替わったときには、1〜2秒程度ミューティングがはたらき、音が途切れることがあります。

16 再生のしかた

(1) 再生のしかた

1 電源を入れます。

- 本体の**電源ボタン**を押すと、電源表示LEDが点灯し、電源が入ります。
- スタンバイ中の場合には、リモコンの**POWER ONボタン**を押します。

2 OPEN/CLOSEボタンを押します。

- ディスクトレイが開きます。

3 ディスクトレイにディスクを載せます。

4 OPEN/CLOSEボタンを押します。

- ディスクトレイが閉まり、ディスクが本体に装着されます。

5 PLAYボタンを押します。

- インタラクティブなDVDやプレイバックコントロール付きビデオCDの多くのものは、メニュー画面が表示されます。このような場合、操作*6*で見たい項目を選択し再生をはじめてください。

インタラクティブなDVDとは

例えば複数のアングルや、ストーリーなどが収録されたDVDソフトです。

（次のページに続きます）

再生のしかた（つづき）

6

リモコンのカーソルボタン（▲,▼,◀,▶）を押し、見たい項目を選択します。

- ディスクによって異なりますが、**▶▶Iボタン**を押すとメニューの続きがある場合、続きのメニューを表示します。（ディスクのジャケットを参照してください。）

※ **ビデオCDのときは、カーソルボタン（▲,▼,◀,▶）が使えません。**番号ボタンで見たい項目を選択してください。

（リモコン）

7

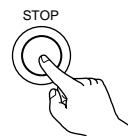
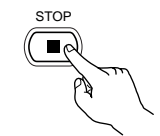
リモコンのENTERボタンを押します。

- 見たい項目が決定され、再生がはじまります。
- ディスクによっても異なりますが、DVD再生中は**TOP MENUボタン**または**MENUボタン**を押すとメニュー画面に戻すことができます。
- ビデオCD再生中は**RETURNボタン**を押すとメニュー画面に戻すことができます。

（リモコン）

【例】DVD“りんご”を選択したとき

ご注意

- ボタン操作中、テレビ画面に 🚫 が表示されたときは、本機またはディスクがその操作を禁止しています。
- ディスクはガイドに合わせて置いてください。
- トレイには2枚以上のディスクをのせないでください。
- テレビ画面にメニューが出ている間は、ディスクは回り続けています。

（2）再生の止めかた

1

再生中にSTOPボタンを押します。

- 再生が止まり、壁紙が表示されます。
- 『初期設定』で『特殊設定』の『オートパワーモード』を『入』に設定している場合、停止状態で30分経過すると自動的に本体の電源が切れ、スタンバイ状態になります。（38、39ページ参照）

■ 続き再生メモリ機能について(DVDオーディオ/DVDビデオ)

- 再生中に**STOPボタン**を押すと止めた位置を記憶します。
  （この時、ディスプレイの“ ▶ ”が点滅します。）
  PLAYボタンを押すと、止めたところから再生がはじまります。
  トレイを開けるか、もう一度**STOPボタン**を押すと続き再生メモリ機能は解除されます。
- 続けて演奏しないときは、節電のため本体の**電源ボタン**を押して電源を切るか、リモコンの**POWER OFFボタン**を押してスタンバイ状態にしてください。

（本体）　（リモコン）

※続き再生メモリ機能は、再生中に表示窓に経過時間が表示されるディスクで働きます。

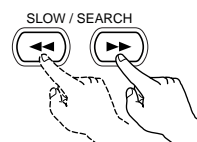
再生のしかた（つづき）

（3）早送り/早戻しのしかた

1

再生中にリモコンのSLOW/SEARCHボタンを押します。

［◀◀：戻し方向、▶▶：送り方向］

- 押すたびに、早送り/早戻しが速くなります。CDの場合は4段階、DVDオーディオ（動画部）・DVDビデオ・ビデオCDは7段階可変できます。
- **PLAYボタン**を押すと通常の再生に戻ります。

（リモコン）

ご注意

- ビデオCDのメニュー再生中、**SLOW/SEARCHボタン**を押すとメニュー画面に戻ることがあります。

（4）頭出しのしかた

1

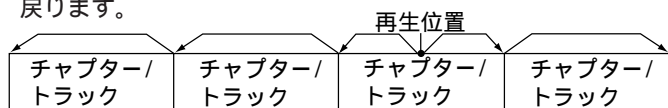
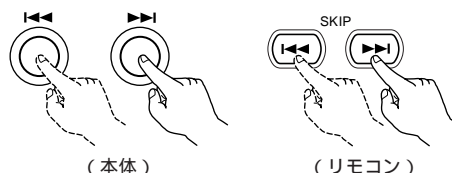
【SKIPボタンで頭出しする場合】

再生中にSKIPボタンを押します。

［I◀◀：戻し方向（リバース）、▶▶I：送り方向（フォワード）］

- 押した回数だけチャプター/トラックを飛び越します。
- 戻し方向に1回押すと再生中のチャプター/トラックの先頭に戻ります。

再生位置

チャプター/トラック	チャプター/トラック	チャプター/トラック	チャプター/トラック

戻し方向← →送り方向（再生方向）

SKIP

（本体）　（リモコン）

ご注意

- ビデオCDのメニュー再生中、**SKIPボタン**を押すとメニュー画面に戻ることがあります。

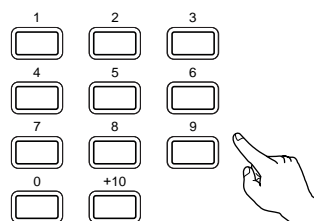
【番号ボタンで頭出しする場合】

①再生中にリモコンのSEARCH MODEボタンを押します。

- ボタンを押すたびに下記のようにモードが切り替わります。
  - DVDオーディオの場合：グループ ←→ トラック
  - DVDビデオの場合：タイトル ←→ チャプター
  - CD/ビデオCDの場合：トラック固定

※**SEARCH MODEボタン**を押して決めたサーチモードは、電源をOFFにするまで記憶しています。

②リモコンの番号ボタンを押して、再生したい番号を入力します。

※DVDオーディオ・DVDビデオ・ビデオCDの中には、ソフト制作者の意図により、本書の説明どおりに動作しないディスクがあります。

（リモコン）

再生のしかた（つづき）

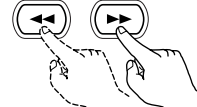
(5) 静止（一時停止）のしかた

1 **再生中にリモコンのSTILL/PAUSEボタンを押します。**
● **PLAYボタン**を押すと通常の再生に戻ります。

(6) コマ送り再生のしかた　（DVD/ビデオCD のみ）

1 **静止中にリモコンのSTILL/PAUSEボタンを押します。**
● 押すたびに、1コマずつ再生します。
● **PLAYボタン**を押すと通常の再生に戻ります。
● DVDオーディオでは、動画部のみコマ送りができます。

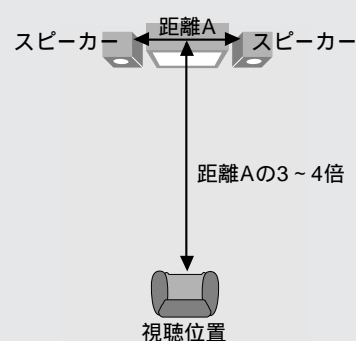
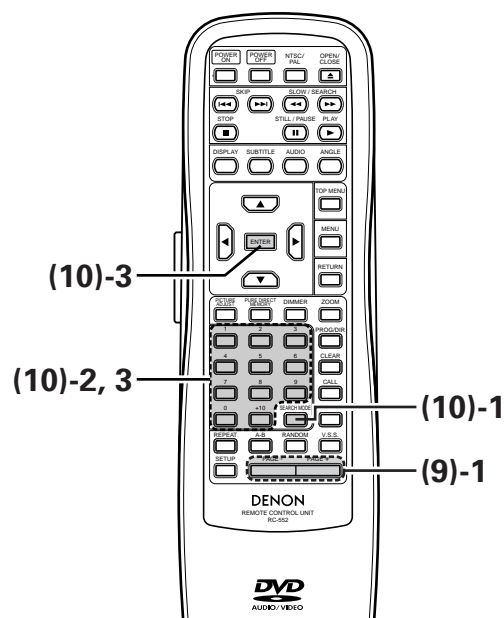
(7) スロー再生のしかた　（DVD/ビデオCD のみ）

1 **静止中にリモコンのSLOW/SEARCHボタンを押します。**　[◀◀：戻し方向、▶▶：送り方向]
● 押すたびに、スロー再生の速度が速くなります。
DVDの場合は4段階、ビデオCDの場合は3段階になります。
● **PLAYボタン**を押すと通常の再生に戻ります。
● DVDオーディオでは、動画部のみスロー再生ができます。

ご注意
● スロー再生の速度が画面の表示と合わないことがあります。
● ビデオCDは逆スロー再生できません。

(8) V.S.S.（バーチャルサラウンドサウンド）機能の楽しみかた（DVDのみ）

★ V.S.S.（バーチャルサラウンドサウンド）機能を使うと音に広がりを与え、フロントスピーカー（L/R）だけでサラウンド効果を楽しむことができます。サラウンド信号があるディスクの場合は、音に広がりが出るほか、スピーカーが存在しない横方向からあたかも音が出ているように聞こえます。

1 **再生中にリモコンのV.S.S.ボタンを押します。**
● もう一度ボタンを押すとV.S.S.機能が解除されます。

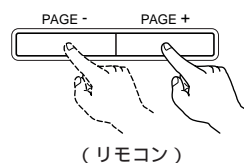
ご注意
● ドルビーデジタル2ch以上で収録されたDVDソフトでのみ働きます。
● ディスクによっては効果が出にくいものや、出ないものがあります。
● ディスクによっては音声がひずむことがあります。
その場合はV.S.S.を解除してください。
● 他のサラウンド機能（テレビのサラウンドなど）は『切』にしてお使いください。
● 視聴位置（テレビからの距離）は、左右のスピーカー（距離A）の3〜4倍の距離が効果的です。

再生のしかた（つづき）

（9）静止画の選択のしかた　（DVDオーディオのみ）

1

再生中にリモコンのPAGE −/＋ボタンを押します。

● 静止画付きのDVDオーディオでは、お好みの画像を選択することができます。

※ ソフト制作者の意図により、画像を選択できないものがあります。

（リモコン）

（10）ボーナスグループの再生のしかた　（DVDオーディオのみ）

1

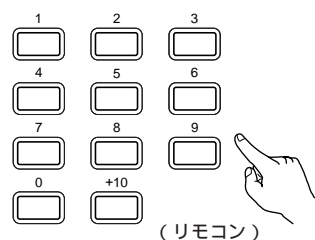
停止中にSEARCH MODEボタンを押して、サーチモードをグループにします。

●“ GROUP ” 表示が点灯します。

SEARCH MODE

（リモコン）

2

番号ボタンでボーナスグループの番号を入力します。

（リモコン）

3

番号ボタンでパスワード（4桁の数字）を入力し、ENTERボタンを押します。

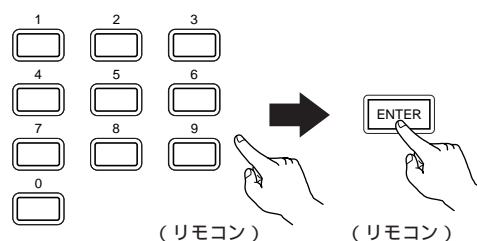
● 指定したグループの1曲目から再生をはじめます。

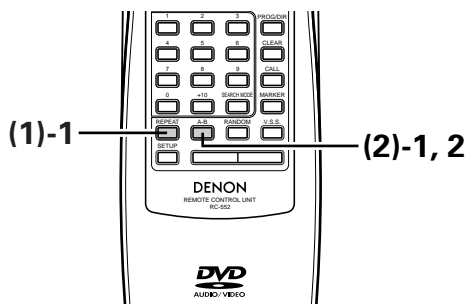
● いったんパスワードを入力すると、ディスクを取り出すまで何度でも再生できます。

※ パスワードはメニュー画面で入力する場合もありますので、画面の指示に従ってください。

※ パスワードを入力中に間違えたときは、リモコンの**CLEAR ボタン**を押してください。

ENTER

（リモコン）　（リモコン）

17 くり返し再生する（リピート再生）

★ お気に入りの映像や音声をくり返して再生することができます。

ご注意

- リピート再生が働かないDVDもあります。
- 再生中ディスプレイに再生経過時間が表示されないディスクは、リピート再生およびA-Bリピート再生ができないことがあります。
- A-Bリピート再生中は、A-B間の前後の字幕が表示されないことがあります。

（1）くり返し再生する（リピート再生）

1

再生中にREPEATボタンを押します。

- 押すたびにテレビ画面の表示が切り替わり、それぞれのくり返し再生をはじめます。

REPEAT

（リモコン）

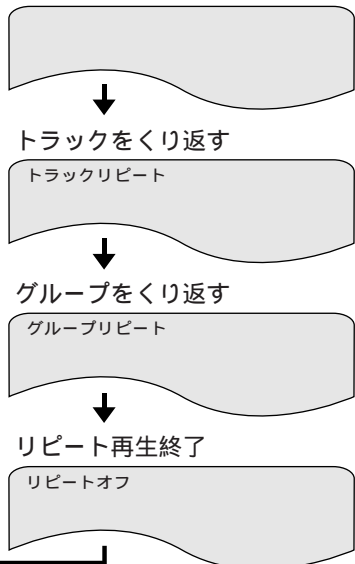
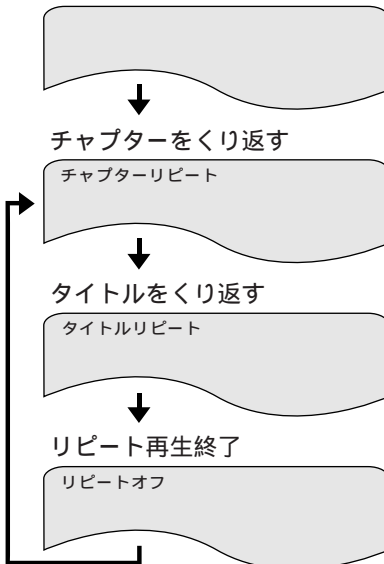
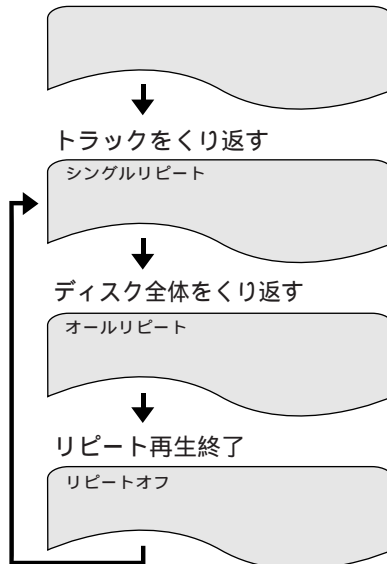
■ DVDオーディオの場合

- 通常の再生
- トラックをくり返す：トラックリピート
- グループをくり返す：グループリピート
- リピート再生終了：リピートオフ

■ DVDビデオの場合

- 通常の再生
- チャプターをくり返す：チャプターリピート
- タイトルをくり返す：タイトルリピート
- リピート再生終了：リピートオフ

■ ビデオCDや音楽CDの場合

- 通常の再生
- トラックをくり返す：シングルリピート
- ディスク全体をくり返す：オールリピート
- リピート再生終了：リピートオフ

※**通常の再生に戻すときは**

テレビ画面に “ リピートオフ ” が表示されるまで**REPEATボタン**を押すと、通常の再生に戻ります。

（2）指定した2点間をくり返し再生する（A-Bリピート再生）

1

再生中にA-Bボタンを押します。

- 開始場所Aが指定されます。

A-B

（リモコン）

リピート A-

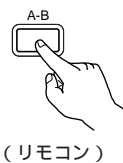
2

もう一度A-Bボタンを押します。

- 終了場所Bが指定され、A-B間のくり返し再生がはじまります。

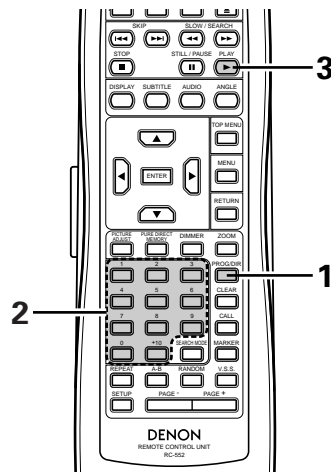
A-B

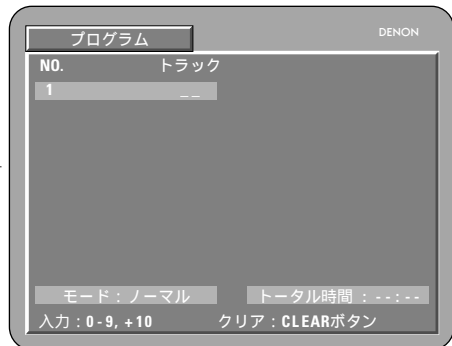
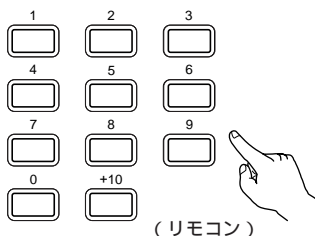
（リモコン）

リピートA-B

※**通常の再生に戻すときは**

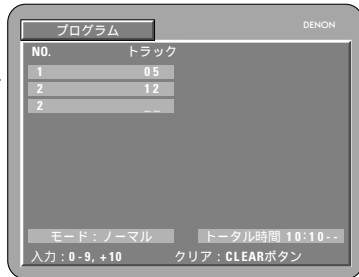
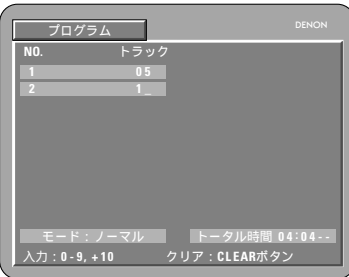
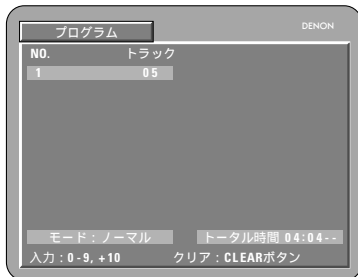
テレビ画面に “ リピートオフ ” が表示されるまで**A-Bボタン**を押します。

18 好きな順に再生する（プログラム再生）

★ ビデオCDや音楽CDはトラック番号を予約して好きな順に再生することができます。
★ DVDでは働きません。

1
停止中にPROG/DIRボタンを1回押します。
● プログラム選択画面が表示されます。

PROG/DIR
（リモコン）

2
番号ボタンで予約したい番号を選択します。
● 20曲までプログラムできます。

（リモコン）

【例】トラック5と12をプログラムする場合

番号ボタンの『5』を押します。 → 番号ボタンの『+10』を押します。 → 番号ボタンの『2』を押します。

3
PLAYボタンを押します。
● 予約した順に再生がはじまります。

PLAY
（リモコン）

※**通常の再生に戻すには**
STOPボタンを押してプログラム再生を止め、**PROG/DIRボタン**を押します。
その後、**PLAYボタン**を押すとディスクの先頭から通常の再生がはじまります。

※**予約を1つずつ取り消すには**
STOPボタンを押してプログラム再生を止めます。
その後、**CLEARボタン**を押すたびに最後に予約したものから順に取り消されます。

※**予約をすべて取り消すときは**
電源を切るか、本体からディスクを取り出すとすべて取り消されます。
また、**STOPボタン**を押してプログラム再生を止め、**PROG/DIRボタン**を押すとすべて取り消されます。

※**プログラムされた内容を確認するには**
CALLボタンを押すとプログラムされた内容がステップごとに表示されます。

19 順不同に再生する（ランダム再生）

★ ビデオCDや音楽CDはトラック単位で順不同（ランダム）に再生することができます。

★ DVDでは働きません。

1 **停止中にRANDOMボタンを押します。**

● ランダム再生画面が表示されます。

※ **ディスクによってはランダム再生できない場合があります。**

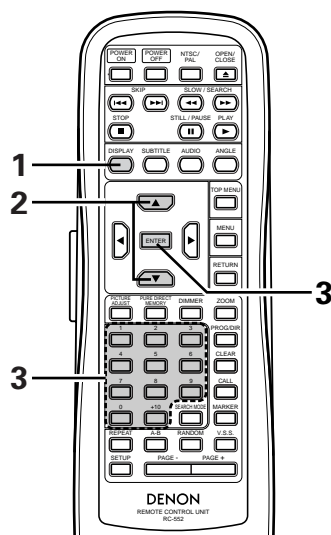
2 **PLAYボタンを押します。**

● 順不同に再生がはじまります。

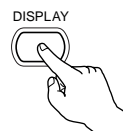
※ **通常の再生に戻すときは**
STOPボタンを押してランダム再生を止め、**RANDOMボタン**を1回押します。

20 ON-SCREEN画面を使って操作する

★ ディスクに関する情報（タイトル/チャプター/時間）を表示したり、再生位置を指定することができます。

1

再生中にDISPLAYボタンを押します。

- ON-SCREEN画面が表示されます。
- 押すたびにテレビ画面の表示が切り替わります。
- 表示される項目はディスクにより異なります。

DISPLAY

（リモコン）

【例】DVDオーディオの場合（通常の再生画面）

→ （通常の再生画面）

→ グループ 01/02　トラック 01 /10
グループタイム 0 : 00 : 01

↓ グループリメイン 0 : 57 : 59
↓ トラックタイム 0 : 00 : 01
↓ トラックリメイン 0 : 05 : 59

→ 音声 1/1 : LPCM 2 ch/ 96 kHz/24BIT

【例】DVDビデオの場合（通常の再生画面）

→ （通常の再生画面）

→ タイトル 01/10　チャプター 01/10
タイトルタイム 00 : 00 : 01

↓ タイトルリメイン 01 : 10 : 59
↓ チャプタータイム 00 : 00 : 01
↓ チャプターリメイン 00 : 40 : 59

→ 音声 1/2 : DOLBY D 3/2.1 英語
字幕 : オフ

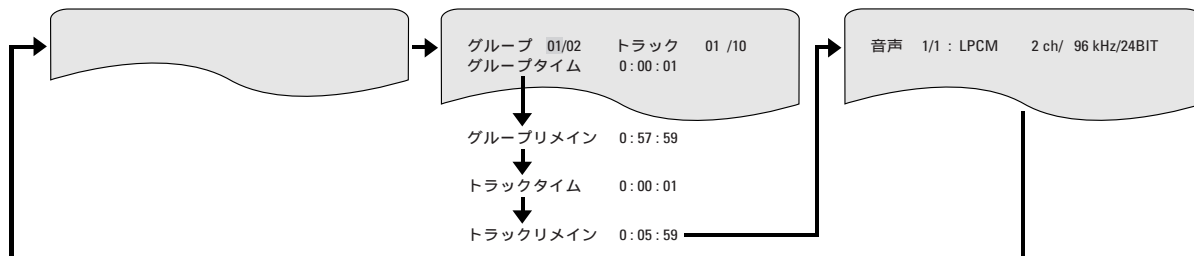
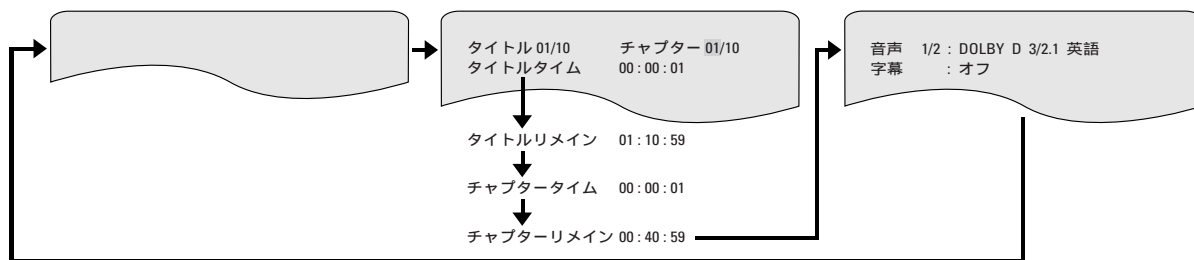
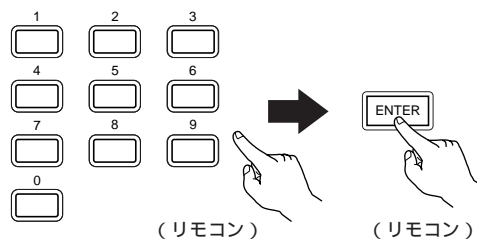
【例】ビデオCD/音楽CDの場合（通常の再生画面）

→ （通常の再生画面）

→ トラック 01 / 10
シングルタイム 26 : 11

→ シングルリメイン 03 : 17
↓ トータルタイム 06 : 15
↓ トータルリメイン 32 : 05

※ビデオCD/音楽CDの場合、経過時間のみ切り替わります。

2

カーソルボタン（▲,▼）で変更する項目を選択します。

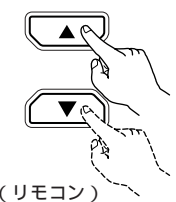
- 選択された項目は黄色の枠で表示されます。

◎DVDオーディオの場合
　グループ、トラックの経過時間が選択できます。

◎DVDビデオの場合
　タイトル、チャプターの経過時間が選択できます。

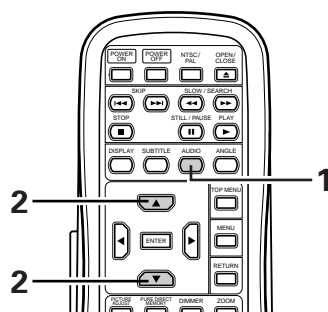
◎ビデオCD/音楽CDの場合
　トラックの経過時間などが選択できます。

（リモコン）

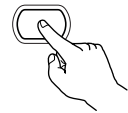
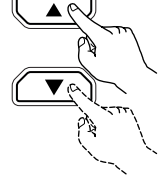
（次のページに続きます）

3	**番号ボタンで再生位置を指定し、ENTERボタンを押します。** ①経過時間の指定 ● DVDの場合 【例】1時間32分47秒の場合→『１３２４７』と押して、**ENTERボタン**を押します。 1分26秒の場合→『００１２６』と押して、**ENTERボタン**を押します。 ● ビデオCD/音楽CDの場合 【例】1分26秒の場合→『０１２６』と押して、**ENTERボタン**を押します。 ②グループ、タイトル、トラック、チャプターの指定 ● DVDの場合 **番号ボタン**で入力し、**ENTERボタン**を押します。 （ディスクによっては指定できない場合があります。） ● ビデオCD/音楽CDの場合 **番号ボタン**で入力すると、そのトラックから再生をはじめます。（ダイレクト選曲）	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 ENTER （リモコン） （リモコン）

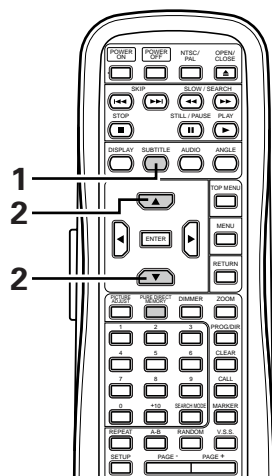
21 マルチ機能の使いかた

音声言語を切り替える（マルチ音声機能）

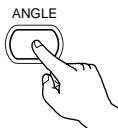
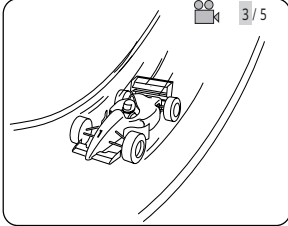
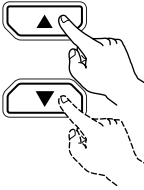
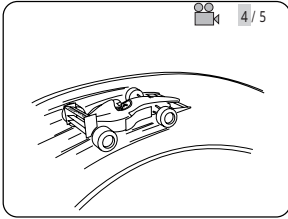
★ 複数の音声言語が記録されているDVDは、再生中に音声言語を切り替えることができます。

1	**再生中にAUDIOボタンを押します。** ● 現在再生中の音声番号が表示されます。	ANGLE （リモコン） 音声 1/3: DOLBY D 3/2.1 日本語
2	**カーソルボタン（▲,▼）でお好みの言語にします。** ● **AUDIOボタン**を押すと表示が消えます。	（リモコン） 音声 2/3: DOLBY D 3/2.1 英語

ご注意

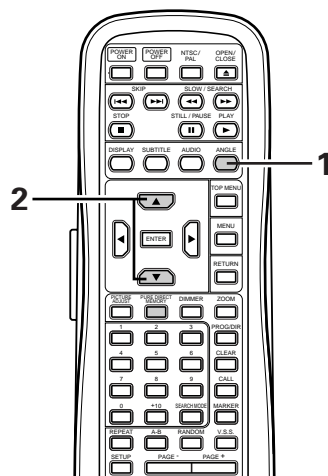
- ディスクによっては再生中に音声言語を切り替えられない場合があります。この場合にはDVDメニューで選択してください。（57ページ参照）
- **カーソルボタン（▲,▼）**を数回押しても希望の言語にならないときは、その言語がディスクに記録されていません。
- 電源投入時およびディスク交換時は、初期設定（27ページ参照）で設定されている言語になります。

字幕言語を切り替える（マルチ字幕機能）

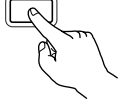
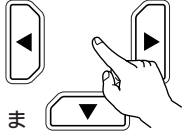
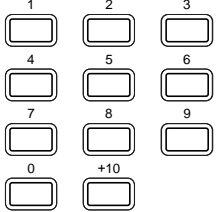
★ 複数の字幕言語が記録されているDVDは、再生中に字幕言語を切り替えることができます。

1	**再生中にSUBTITLEボタンを押します。**	SUBTITLE 字幕　01/03:日本語 （リモコン）
2	**カーソルボタン（▲,▼）でお好みの字幕言語にします。** ● **SUBTITLEボタン**を押すと表示が消えます。	字幕　02/03:英語 （リモコン）

ご注意

- **カーソルボタン（▲,▼）**を数回押しても希望の字幕言語にならないときは、その言語がディスクに記録されていません。
- 電源投入時およびディスク交換時は、初期設定（27ページ参照）で設定されている字幕言語になります。なお、その言語がディスクにないときはディスクで決められている言語になります。
- 字幕言語を変更してからその言語が表示されるまでに多少時間がかかる場合があります。

マルチ機能の使いかた（つづき）

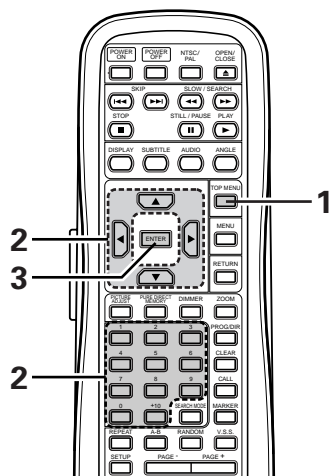
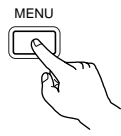
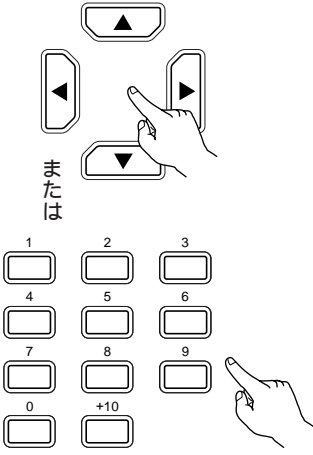
アングル（角度）を切り替える（マルチアングル機能）

★ 複数のアングルが記録されているDVDは、再生中にアングルを切り替えることができます。

1	**再生中にANGLEボタンを押します。** ● 現在再生中のアングル番号が表示されます。	
2	**カーソルボタン（▲,▼）でお好みのアングルにします。** ● **ANGLEボタン**を押すと表示が消えます。	

ご注意

● マルチアングル機能は複数のアングルが記録されているディスクで働きます。
● 複数のアングルが記録されている場面でアングルを切り替えることができます。

22 メニューの使いかた

トップメニューを使う

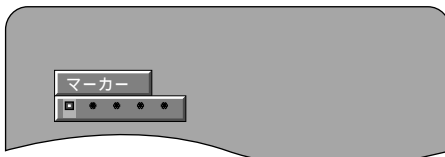
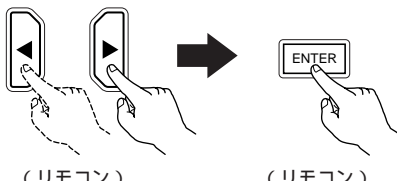
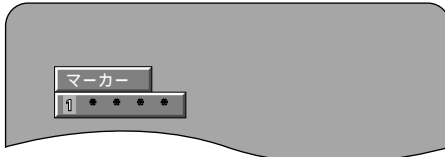
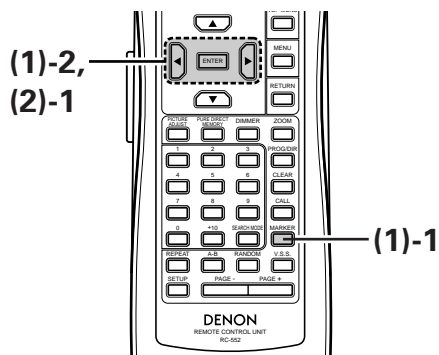
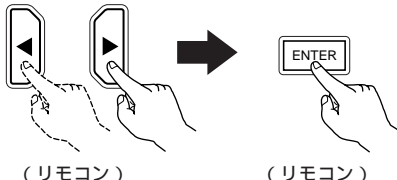
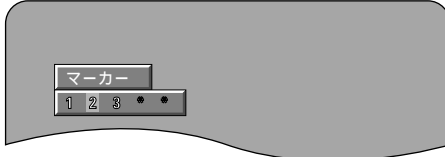
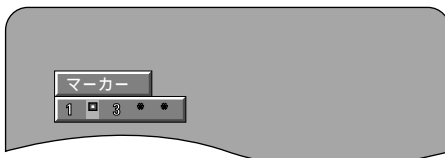
★ 複数のタイトルが入っているDVDは、トップメニューからお好みのタイトルを選択し再生することができます。

1	**再生中にTOP MENUボタンを押します。** ● トップメニューが表示されます。	TOP MENU （リモコン） 【例】 TOP MENU りんご　バナナ みかん　イチゴ もも　パイナップル
2	**カーソルボタンまたは番号ボタンでお好みのタイトルを選択します。** ● **番号ボタン**で選択したとき操作*3*は不要です。	または 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 +10 （リモコン） 【例】『みかん』を選択した場合 TOP MENU りんご　バナナ みかん　イチゴ もも　パイナップル
3	**ENTERボタンを押します。** ● 再生がはじまります。 ● **PLAYボタン**を押しても、再生がはじまります。	ENTER （リモコン）

メニューの使いかた（つづき）

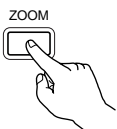
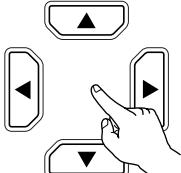
DVDメニューを使う

★ DVDによっては、DVDメニューと呼ばれる特別なメニューが用意されているものがあります。
例えば、複雑な内容で編集されたDVDではガイドメニューが用意されていたり、多言語で収録されたDVDでは音声や字幕の言語メニューが用意されていたりします。これらのメニューを『**DVDメニュー**』と呼びます。本書では、DVDメニューの一般的な操作方法を紹介します。

1	**再生中にMENUボタンを押します。** ● DVDメニューが表示されます。	MENU （リモコン） 【例】 DVD MENU 1. 字幕 2. 音声 3. アングル
2	**カーソルボタンまたは番号ボタンで項目を選択します。** ● **番号ボタン**で選択したとき操作***3***は不要です。	または 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 +10 （リモコン） 【例】『音声』を選択した場合 DVD MENU 1. 字幕 2. 音声 3. アングル
3	**ENTERボタンを押します。** ● 選択した項目が決定されます。 ● 次々とメニューを表示するときは、操作***2***、***3***をくり返します。	ENTER （リモコン）

23 再び見たい場面を記憶する

★ 再び見たい場面にマークを付けておくと、いつでもそこから再生がはじめられます。

ご注意

- マーカーを付けた場所によっては、字幕が表示されないことがあります。
- 電源を切るか、本機からディスクを取り出すまでマーク番号は保持されています。

(1) マークを付ける

1 **再生中にMARKERボタンを押します。**

- マーカー画面が表示されます。
- マークされていないときは、『＊』が表示されます。

2 **カーソルボタン（◄,►）でマーカーを選択し、記憶したい場面でENTERボタンを押します。**

- 数字が表示されます。
- 最大5ヵ所までマークできます。

(2) マークを付けた場面を呼び出す/取り消す

1 **カーソルボタン（◄,►）でマーク番号を選択し、ENTERボタンを押します。**

※再生中にマーカー画面が表示されていなければ、**MARKERボタン**を押してマーカー画面を表示させてください。

※マーカーの表示を消すときには
MARKERボタンを押します。

※選んだマーク番号を取り消すときには
カーソルボタン（◄,►）でマーク番号を選択し**CLEARボタン**を押すと、選んだマーク場面が取り消されます。

24 ズーム再生する

1

再生中または一時再生中にZOOMボタンを押します。

- ボタンを押すたびに倍率が上がります。

  ◎DVDオーディオの場合　：OFF → ×2 → ×4 → OFF

  ◎DVDビデオ/ビデオCDの場合：OFF → ×1.5 → ×2 → ×4 → OFF

※『初期設定』で『特殊設定』の『プレーヤーモード』が『オーディオ』になっているとき（38ページ参照）、トップメニューや静止画ではズーム再生ができません。

※『初期設定』で『特殊設定』の『プレーヤーモード』が『ビデオ』になっているとき（38ページ参照）、トップメニューではズーム再生ができません。

ZOOM

（リモコン）

2

カーソルボタン（▲,▼,◄,►）を押します。

- ズーム画面が移動します。

（リモコン）

ご注意

- ディスクによってはズーム再生できないものがあります。
- 場面によってはズームが正しく働かないことがあります。
- トップメニュー、メニュー画面ではズーム再生はできません。
- 拡大すると画質が悪化したり、画像がぶれることがあります。

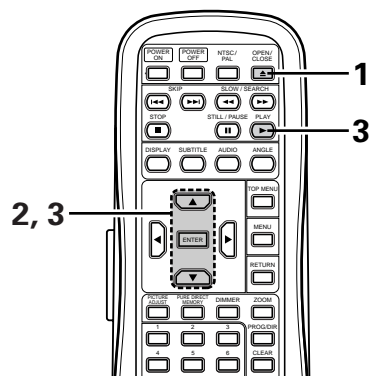
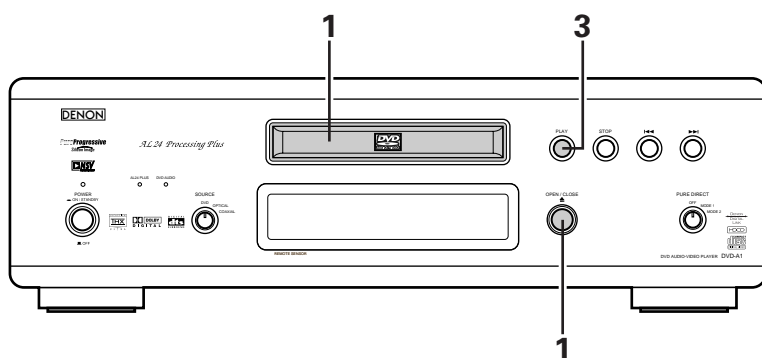
25 MP3を再生する

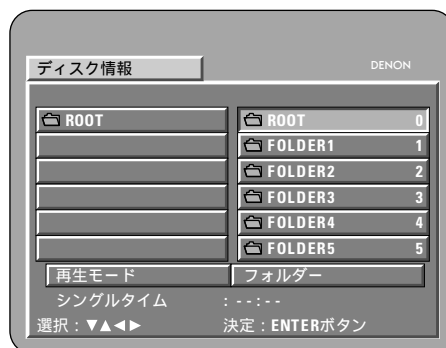
MP3のCD/CD-R/CD-RWを聴くには

★ インターネットのホームページ上には、MP3形式の音楽ファイルをダウンロードできる様々な音楽配信サイトがあります。そのサイトの指示に従って音楽をダウンロードし、CD-R/RWに書き込めば、本機で再生することができます。
市販の音楽CDに収録された音楽を、パソコン上でMP3エンコーダ（変換ソフト）によりMP3ファイルに変換すれば、12cm CD1枚が約10分の1のデータ量になります。これをCD-R/RWに書き込めば約10枚分の音楽CDがたった1枚のCD-R/RWにMP3ファイルとして書き込むことができます。約100曲以上*の音楽が1枚のCD-R/RWで楽しめます。

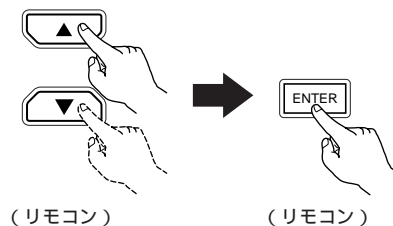
＊ 約5分の曲を標準的なビットレート128kbpsでMP3ファイルに変換し、容量650MBのCD-R/RWに書き込んだ場合のおよその値です。

＊ **あなたが録音したものは個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。**

1

MP3形式の音楽ファイルを書き込んだCD-R/RWを本体にセットします。（24ページの「ディスクの入れかた」を参照してください。）

- 本体にディスクが装着されるとディスク情報画面が表示されます。
- 複数のフォルダがある場合は、操作*2*に進みます。
- ディスクに記録されているフォルダがない場合（MP3ファイルのみ）は、操作*3*に進みます。

2

リモコンのカーソルボタン（▲,▼）で再生したいフォルダを選択し、リモコンのENTERボタンを押します。

※ **再生したいフォルダを変えたいときは**
リモコンの**カーソルボタン（▲）**で画面右上の“ ROOT ”表示を選択し、 リモコンの**ENTERボタン**を押すとディスク情報画面が表示されますので、もう一度フォルダを選択し直してください。

（次のページに続きます）

MP3を再生する（つづき）

3

リモコンのカーソルボタン（▲,▼）で再生したいMP3ファイルを選択し、PLAYボタンまたはリモコンのENTERボタンを押します。

- 再生をはじめます。

※ リモコンの**DISPLAYボタン**を押すと、1曲経過時間（シングルタイム）と1曲残り時間（シングルリメイン）を切り替え表示することができます。

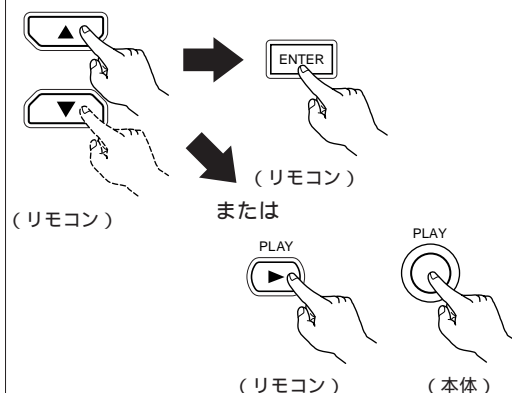
※ **MP3のディスクではプログラム再生ができません。**

※ 再生したいMP3ファイルを変えたいときは
STOPボタンを押してから、リモコンの**カーソルボタン（▲,▼）**でもう一度選択し直してください。

※ ランダム再生するには
停止中にリモコンの**RANDOMボタン**を押してから、**PLAYボタン**またはリモコンの**ENTERボタン**を押します。

※ リピート再生するには
リモコンの**REPEATボタン**を押します。押すたびにリピートモードが変わります。

→ ノーマル → シングルリピート → フォルダリピート

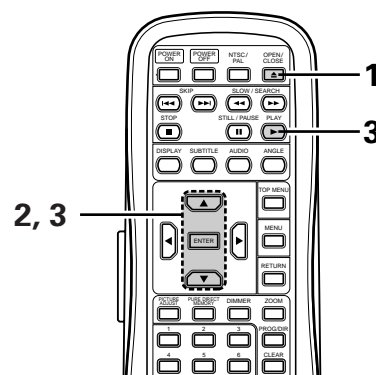
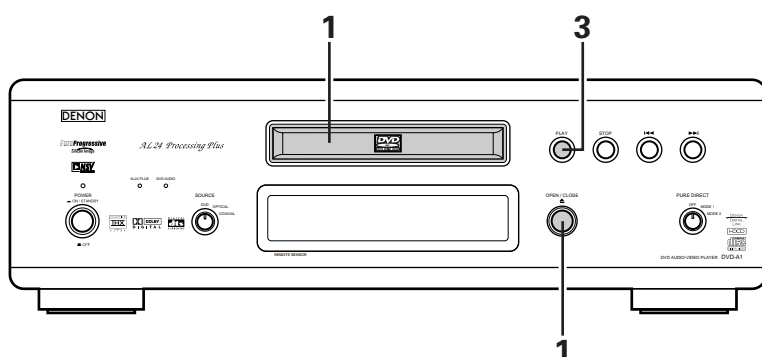
※ 初期のディスク情報画面に戻すときは
STOPボタンを押して再生を止め、リモコンの**カーソルボタン（▲）**で画面右上の“ ROOT ”表示を選択し、リモコンの**ENTERボタン**を押します。（操作*1*のディスク情報画面に戻ります。）

ご注意

- 本機で対応している規格は『MPEG-1 Audio Layer-3』（サンプリング周波数fsは32、44.1、48kHz）です。それ以外の『MPEG-2 Audio Layer-3』、『MPEG-2.5 Audio Layer-3』およびMP1、MP2などには対応していません。
- MP3のディスクではプログラム再生ができません。
- MP3を再生したときのデジタル出力は、初期設定の音声設定が『ノーマル』『PCM変換』に関わらずMP3をPCMに変換して出力します。
また、記録されている音楽ソースのサンプリング周波数で出力します。
- MP3ファイルの再生順序は、CD-R/RW書き込み時にライティングソフトがフォルダ位置、ファイル位置を並び替える可能性があるため任意の再生順序とは異なる場合があります。
- MP3ファイルをCD-R/RWに書き込む場合、ライティングソフトのフォーマットは『ISO9660レベル1』を選択してください。他のフォーマットで記録された場合、正常に再生できないことがあります。ライティングソフトによっては『ISO9660』フォーマットで記録できないものがあります。『ISO9660』フォーマットのライティングソフトをご使用ください。
- 音楽CD（CDA形式）、MP3およびJPEG以外のファイルが書き込まれたCD-R/RWは再生しないでください。ファイルの種類によっては誤動作および故障の原因になります。
- ディスク特性、汚れ、傷などによってCD-R/RWが再生できない場合があります。
- 一般にMP3ファイルはビットレートが高いほど音質が良くなります。本機では128kbps以上のビットレートで記録されたMP3のご使用をおすすめします。
- 本機はフォルダネームとファイルネームをタイトルのように表示することが可能です。半角の英数大文字と__（アンダースコア）を8文字まで表示できます。また、漢字・ひらがな・カタカナ・その他の記号で記録されたフォルダネームとファイルネームは表示されません。
- MP3ファイルには必ず拡張子『.MP3』を付けてください。『.MP3』以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかった場合はファイルを再生できません。
（マッキントッシュのパソコンの場合、半角英数大文字8文字以内のファイルネームの最後に拡張子『.MP3』を付けてCD-R/RWに記録することにより、MP3ファイルの再生が可能です。）
- CD/CD-R/RWのレーベル面や記録面にシールやテープなどを貼らないでください。のりなどがディスク表面に付着すると、本機の内部にディスクが残り、取り出せなくなる恐れがあります。
- パケットライトソフトには対応していません。
- ID3-Tagには対応していません。
- プレイリストには対応していません。

26 静止画ファイル（JPEG方式）を再生する

（1）CD-R/CD-RWに記録した静止画の再生のしかた

＊ あなたが記録したものは個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

1

静止画を記録したCD-R/RWを本体にセットします。

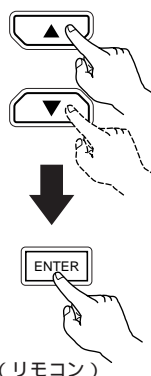
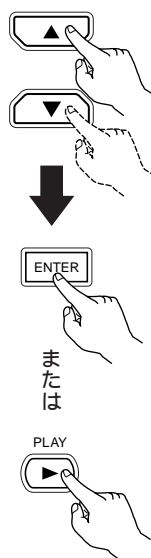
- 本体にディスクが装着されるとディスク情報画面が表示されます。
- 複数のフォルダがある場合は、操作*2*に進みます。
- ディスクに記録されているフォルダがない場合は、操作*3*に進みます。

2

リモコンのカーソルボタン（▲,▼）で再生したいフォルダを選択し、リモコンのENTERボタンを押します。

※**再生したいフォルダを変えたいときは**
リモコンの**カーソルボタン（▲）**で画面右上の“ ROOT ”表示を選択し、リモコンの**ENTERボタン**を押すとディスク情報画面が表示されますので、もう一度フォルダを選択し直してください。

（リモコン）

3

リモコンのカーソルボタン（▲,▼）で再生したい静止画ファイルを選択し、PLAYボタンまたはリモコンのENTERボタンを押します。

（リモコン）　（本体）

（次のページに続きます）

静止画ファイル（JPEG方式）を再生する（つづき）

※**再生する静止画を選択したいときは**
停止中にリモコンの**MENUボタン**を押し、静止画を一度に表示させてから**カーソルボタン（◄,►,▲,▼）**で選択して、**ENTERボタン**を押してください。

※**再生を一時停止したいときは**
リモコンの**STILL/PAUSEボタン**を押してください。
再度再生したいときは**PLAYボタン**を押してください。

※**再生する静止画の頭出しをしたいときは**
再生中に**SKIPボタン（I◄◄,►►I）**を押してください。
I◄◄ボタン：1つ前の静止画を表示します。
►►Iボタン：次の静止画を表示します。

※**静止画の向きを変えたいときは**
再生中または一時停止中にリモコンの**カーソルボタン（◄,►,▲,▼）**を押してください。
▲,▼：再生している静止画を180°反転します。
◄：再生している静止画を反時計方向に90°回転します。
►：再生している静止画を時計方向に90°回転します。

※**記録されている静止画を一度に表示したいときは**
停止中にリモコンの**MENUボタン**を押してください。
最大9つの静止画を一度に表示します。

※**画像をズーム再生したいときは**
再生中にリモコンの**ZOOMボタン**を押し（このとき画面に“ズームオン”が表示されます。）、**SLOW/SEARCHボタン（◄◄,►►）**を押してください。
◄◄ボタン：画像を縮小します。
►►ボタン：画像を拡大します。
また、拡大した場合は**カーソルボタン（◄,►,▲,▼）**でズーム画面を移動させることができます。
（ズームモードでの連続再生（スライドショー）はできません。）

※**スライドショーモードを選択したいときは**
リモコンの**V.S.S.ボタン**を押してください。
JPEG画像を連続再生するときの画像の切り替わりかたを『スライドショーモード1～11』/『RANDOM』/『NONE（特殊切り替えモードなし）』から選択できます。

MP3とJPEGの特殊再生について

カーソルボタン（◄,►）で再生モードを選択し、
カーソルボタン（▲,▼）で特殊再生を選択できます。

◎**フォルダー**
選択したファイルから再生をはじめ、そのフォルダー内のMP3ファイルとJPEGファイルを順次再生します。

◎**フォルダーリピート**
選択したファイルから再生をはじめ、そのフォルダー内のすべてのMP3ファイルとJPEGファイルをくり返し再生します。

◎**ディスク**
選択したファイルから再生をはじめ、ディスク内のすべてのMP3ファイルとJPEGファイルを順次再生します。

◎**ディスクリピート**
選択したファイルから再生をはじめ、ディスク内のすべてのMP3ファイルとJPEGファイルをくり返し再生します。

◎**ランダムオン**
選択したファイルから再生をはじめ、そのフォルダー内のすべてのMP3ファイルとJPEGファイルを順不同に再生します。

◎**JPEG再生１**
選択したJPEGファイルからJPEGファイルのみを順次再生し、その間フォルダー内のMP3ファイルを先頭から順次再生します。（BGM再生）

◎**JPEG再生２**
選択したMP3ファイルからMP3ファイルのみを順次再生し、その間フォルダー内のJPEGファイルを先頭から順次再生します。（BGM再生）

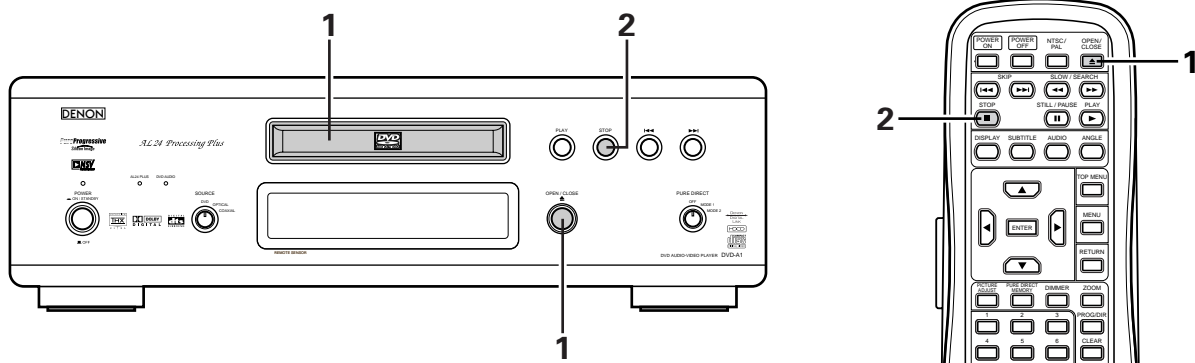
◎**トラックリピート**
選択したMP3ファイルまたはJPEGファイルをくり返し再生します。

ご注意

- 本機はJPEG形式で記録された画像データに対応していますが、すべてのJPEG形式の画像データの再生を保証するものではありません。
- 解像度が2048×1536pixelまで表示できます。
- JPEGファイルをCD-R/RWに書き込む場合、ライティングソフトのフォーマットは『ISO9660レベル1』でおこなってください。
- 音楽CD（CDA形式）、MP3およびJPEG以外のファイルが書き込まれたCD-R/RWは再生しないでください。ファイルの種類によっては誤動作および故障の原因になります。
- ディスク特性、汚れ、傷などによってCD-R/RWが再生できない場合があります。
- JPEGファイルには必ず拡張子『.JPG』または『.JPE』を付けてください。『.JPG』または『.JPE』以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかった場合はファイルを再生できません。（マッキントッシュのパソコンで書き込まれたJPEGファイルは再生できません。）
- CD/CD-R/RWのレーベル面や記録面にシールやテープなどを貼らないでください。のりなどがディスク表面に付着すると、本機の内部にディスクが残り、取り出せなくなる恐れがあります。

（2）ピクチャーCDの再生のしかた

★ 本機はコダック（株）が扱っているピクチャーCDを再生することができます。ピクチャーCDを再生することで、写真の画像をテレビで楽しむことができます。

※ ピクチャーCDは従来の銀塩フィルムカメラで撮った写真をデジタルデータに変換してCDに書き込むサービスです。ピクチャーCDに関する詳細は、コダック（株）の現像サービスを取り扱っている店頭にお問い合わせください。

1	**ピクチャーCDを本体にセットします。** ● 本体にディスクが装着されると、自動的に静止画の再生をはじめます。 ● **STOPボタン**が押されるまで、くり返し再生をおこないます。	OPEN / CLOSE （本体）　OPEN/CLOSE （リモコン）
2	**STOPボタンを押します。** ● 再生が停止します。	STOP （本体）　STOP （リモコン）

※ **再生する静止画を選択したいときは**
停止中にリモコンの**MENUボタン**を押し、静止画を一度に表示させてから**カーソルボタン（◀,▶,▲,▼）**で選択して、**ENTERボタン**を押してください。

※ **再生を一時停止したいときは**
リモコンの**STILL/PAUSEボタン**を押してください。
再度再生したいときは**PLAYボタン**を押してください。

※ **再生する静止画の頭出しをしたいときは**
再生中に**SKIPボタン（I◀◀,▶▶I）**を押してください。
I◀◀ボタン：1つ前の静止画を表示します。
▶▶Iボタン：次の静止画を表示します。

※ **静止画の向きを変えたいときは**
再生中または一時停止中にリモコンの**カーソルボタン（◀,▶,▲,▼）**を押してください。
▲,▼： 再生している静止画を180 ° 反転します。
◀ ： 再生している静止画を反時計方向に90 ° 回転します。
▶ ： 再生している静止画を時計方向に90 ° 回転します。

※ **記録されている静止画を一度に表示したいときは**
停止中にリモコンの**MENUボタン**を押してください。
最大9つの静止画を一度に表示します。

※ **画像をズーム再生したいときは**
再生中にリモコンの**ZOOMボタン**を押し（このとき画面に“ ズームオン ”が表示されます。）、**SLOW/SEARCHボタン（◀◀,▶▶）**を押してください。
◀◀ボタン：画像を縮小します。
▶▶ボタン：画像を拡大します。
また、拡大した場合は**カーソルボタン（◀,▶,▲,▼）**でズーム画面を移動させることができます。
（ズームモードでの連続再生（スライドショー）はできません。）

※ **スライドショーモードを選択したいときは**
リモコンの**V.S.S.ボタン**を押してください。
JPEG画像を連続再生するときの画像の切り替わりかたを『スライドショーモード1〜11』/『RANDOM』/『NONE（特殊切り替えモードなし）』から選択できます。

27 故障かな？と思ったら

故障？と思っても、もう一度確かめてみましょう

- ■ **各接続は正しいですか**
- ■ **取扱説明書に従って正しく操作していますか**
- ■ **アンプやスピーカーは正しく動作していますか**

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜きとり、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、販売店でおわかりにならない場合は、当社のお客様相談窓口またはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

現　　象	チェック項目	関連ページ
電源が入らない。	●電源プラグを電源コンセントへしっかりと差し込んでください。	12～18、20
再生ボタンを押しても、再生がはじまらない。 または、すぐに停止する。	●結露していませんか。（1、2時間放置してください。） ●7ページにあるマークがついたディスク以外は再生できません。 ●ディスクが汚れているのできれいに拭いてください。	6 7 11
映像が映らない。	●接続を確認してください。 ●ピュアダイレクトでビデオ出力が『しない』に設定されていないか確認してください。 ●テレビの入力を『ビデオ』にしてください。	12～18 42 ー
音が聞こえない。 または、聞きづらい。	●接続を確認してください。 ●テレビ、ステレオなどの入力を正しく設定してください。 ●『デジタル出力』または『ダイナミックレンジ圧縮』の設定を確認してください。	12～18 ー 33、35、38、39
ビデオCDのメニュー再生ができない。	●プレイバックコントロール付きビデオCD以外は、メニュー再生できません。	44
早送り/早戻しをしたら画像が乱れる。	●多少乱れが生じることがありますが、故障ではありません。	ー
各ボタン操作ができない。	●ディスクによってはその操作を禁止している場合があります。	45
字幕が出ない。	●字幕の入っていないDVDは字幕が表示されません。 ●字幕が『切』になっていますので、字幕を設定してください。	ー 27
音声（または字幕）言語が切り替えられない。	●複数の言語が入っていないディスクは切り替えられません。 ●音声（または字幕）切り替え操作では切り替えられず、DVDメニュー画面などで切り替えられるディスクもあります。	ー 57
アングルを変えて見ることができない。	●複数のアングルが記録されていないDVDは、アングルを切り替えられません。また、複数のアングルは特定の場面のみ記録されているものがあります。	55
タイトルを選択しても再生がはじまらない。	●『視聴制限レベル』の設定を確認してください。	36、37
視聴制限で設定した暗証番号を忘れた。 初期設定のすべての項目を工場出荷時設定に戻す。	●以下の操作で初期設定の内容を工場出荷時に戻してください。 停止状態で、本体の**PLAYボタン**と**スキップボタン（▶▶I）**を押しながら、**OPEN/CLOSEボタン**を3秒以上押し続けてください。 （テレビ画面の“ 初期化しました ”が消えたことを確認してください。）	ー
初期設定で選択した音声言語、字幕言語にならない。	●DVDにその言語の音声や字幕が入っていないときは選択している言語になりません。	27～29
4：3（16：9）の画像で映らない。	●お手持ちのテレビに合わせて『TV アスペクト』の項目を正しく設定してください。	31
希望の言語でメニュー画面のメッセージが出ない。	●初期設定の『ディスク言語設定』の『メニュー言語』を確認してください。	27、28
リモコンで操作できない。	●乾電池は、⊕⊖を確かめて正しく入れてください。 ●乾電池が消耗していますので、新しい乾電池に交換してください。 ●リモコン受光部に向けて操作してください。 ●リモコン受光部との距離が7m以内のところで操作してください。 ●リモコン受光部との間にある障害物を取り除いてください。	22 22 22 22 22

28 主な仕様

■信号形式　NTSC/PAL

対応ディスク　(1) DVD-AUDIO / DVD-VIDEOディスク
12cm片面1層、12cm片面2層、12cm両面2層（片面1層)、
8cm片面1層、 8cm片面2層、 8cm両面2層（片面1層）
(2) コンパクトディスク（CD－DA、VIDEO CD）
12cmディスク、8cmディスク

S映像出力　Y出力レベル：1Vp-p（75Ω）
C出力レベル：0.286Vp-p
出力端子　：S端子　2系統

映像出力　出力レベル　：1Vp-p（75Ω）
出力端子　：ピンジャック　2系統

コンポーネント出力　Y出力レベル　：1Vp-p（75Ω）
PB/CB出力レベル：0.7Vp-p（75Ω）
PR/CR出力レベル：0.7Vp-p（75Ω）
出力端子　：ピンジャック　1系統 / D2端子　1系統

アナログ音声出力　出力レベル　：2Vrms　1系統
2チャンネル（FL/FR）出力端子　：ピンジャック　2系統
マルチチャンネル（C/SL/SR/SW）：ピンジャック　1系統

音声出力特性　(1) 周波数特性
① DVD（リニアPCM）：2Hz～22kHz（ 48kHzサンプリング）
：2Hz～44kHz（ 96kHzサンプリング）
：2Hz～88kHz（192kHzサンプリング）
② CD　：2Hz～20kHz（EIAJ）
(2) S/N比
① DVD：118dB
② CD　：118dB（EIAJ）
(3) 全高調波歪率
① DVD：0.0015%
② CD　：0.0018%（EIAJ）
(4) ダイナミックレンジ
① DVD：108dB
② CD　：100dB（EIAJ）

デジタル音声出力　出力端子：光出力端子 1系統 / コアキシャル出力端子 1系統 / DENON LINK出力端子 1系統

デジタル音声入力　入力端子：光入力端子 1系統 / コアキシャル入力端子 1系統

電源　AC100V　50/60Hz

消費電力　38W　（スタンバイ時：1.6W)（電気用品安全法による）

最大外形寸法　434（幅）×136（高さ）×411（奥行き）mm（突起物を含む）

質量　18.5kg

■リモコンユニット　RC-552

リモコン方式　赤外線パルス式

電源　DC3V　単3乾電池2本使用

※（EIAJ）：（社）電子情報技術産業協会（略称JEITA）が制定した規格です。

※ 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。
※ 本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

※ 本機は国内仕様です。
必ずAC100Vのコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC100V以外の電源には絶対に接続しないでください。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
This product incorporates copyright protection technology that is protected by method claims of certain U.S. patents and other intellectual property rights owned by Macrovision Corporation and other rights owners. Use of this copyright protection technology must be authorized by Macrovision Corporation, and is intended for home and other limited viewing uses only unless otherwise authorized by Macrovision Corporation. Reverse engineering or disassembly is prohibited.

株式会社デノンコンシューマー マーケティング

本　　社　　〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2
茅場町タワー 14F

お客様相談センター　TEL：045-670-5555
【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】
受付時間　9：30～12：00、12：45～17：30
（弊社休日および祝日を除く、月～金曜日）

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、次の URL でもご確認できます。
http://denon.jp/info/info02.html

後日のために記入しておいてください。	
購入店名：	電話（　-　-　）
ご購入年月日：	年　月　日

Printed in Japan　00D 511 3795 003A